

KENWOOD

U585BT U585SD

MP3/WMA/AAC/WAV対応CDレシーバー

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



目次

- 6 はじめに
 - 6 安全上のご注意
 - 6 絵表示について
 - 8 ご使用の前に
 - 11 本書の読みかた
 - 12 時計を調整しよう
 - 14 本機でできること

16 まずはここから覚えてください

- 16 各部の名称とはたらき
- 18 共通の操作を覚えよう
 - 18 電源を入れてみよう
 - 18 音源を切り替えよう
 - 19 音量を調整しよう
 - 19 設定項目を選択しよう
- 20 お好みの音源を聴いてみよう
 - 20 ディスクを聴くには
 - 20 ラジオを聴くには
 - 21 USB機器を聴くには
 - 22 iPodを聴くには
 - 23 SDカードを聴くには
 - 24 Bluetoothオーディオを聴くには (U585BTのみ)
 - 25 外部機器を聴くには

26 ディスクやオーディオファイルを聴く

- 26 本機で使えるメディアとオーディオファイル
 - 27 SDカード/USB機器を聴くときは
- 28 ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示
- 28 ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン
- 29 いろいろな機能を使って再生しよう
 - 29 リピート・ランダム再生をする
 - 30 聴きたい曲を探す (ミュージックサーチ)
 - 31 すばやくスクロールして曲を探す (スキップサーチ)

32 iPodを聴く

- 32 iPodについて
- 33 iPod再生中の画面表示
- 33 iPod再生中に使うボタン
- 34 いろいろな機能を使って再生しよう
 - 34 iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える
 - 34 リピート・ランダム再生をする
 - 35 リストから曲を探す
 - 36 文字を入力して曲を探す（アルファベットサーチ）
 - 36 すばやくスクロールして曲を探す（スキップサーチ）
 - 37 ジャンルと文字で曲を探す（ダイレクトサーチ）

38 ラジオを聴く

- 38 ラジオ受信中の画面表示
- 38 交通情報を聴く
- 39 ラジオを聴く
 - 39 聴きたい放送局を自動で探す
 - 39 放送局を手動登録する
 - 40 放送局を自動登録する（オートメモリー）
 - 40 登録した放送局を呼び出す

41 Bluetoothデバイスを登録する（U585BTのみ）

- 41 本機とペアリングできるBluetoothデバイス
- 41 Bluetoothデバイスの登録
- 42 使用するBluetoothデバイスを選択する
- 42 Bluetoothデバイスの登録を解除する
- 42 電話帳をコピーする
- 43 電話帳を削除する
- 43 携帯電話の優先順設定
- 43 Bluetoothデバイス登録テスト

44 ハンズフリー通話を利用する (U585BTのみ)

- 44 電話をかける
- 44 電話帳を利用して電話をかける
- 45 電話番号を入力して電話をかける
- 45 登録した番号に電話をかける
- 45 履歴から電話をかける
- 46 電話を受ける
- 46 通話を終了する
- 46 プライベート通話に切り替える
- 46 通話音量を調整する
- 46 携帯電話の音声認識機能を利用する
- 46 電話帳のカテゴリ表示について
- 46 未接続表示を消す

47 Bluetoothオーディオを聴く (U585BTのみ)

- 47 Bluetoothオーディオの再生機能に使うボタン
- 48 リピート・ランダム再生をする

49 本機の設定をする

- 49 ディスプレイの表示を設定しよう
- 49 ディスプレイの表示タイプを切り替える (ディスプレイコントロール)
- 51 イルミネーション色を設定する (U585BTのみ)
- 52 ディスプレイの詳細を設定する
- 53 日付を調整する
- 54 お好みの音質に設定しよう — U585SD —
(オーディオコントロール)
- 57 お好みの音質に設定しよう — U585BT —
(オーディオコントロール)
- 61 イコライザーカーブを調整する
- 62 クロスオーバーの設定をする
- 63 デイレイタイムの調整

- 64 チャンネルレベルの調整
- 64 DSP設定を登録する
- 65 DSP設定を呼び出す
- 66 音源ごとに設定を変更しよう**
- 67 初期設定を変更しよう**
- 69 Bluetoothの初期設定を変更しよう (U585BTのみ)**
- 70 PINコードを登録する

71 こんなときは

- 71 本機を盗難から守るために**
- 72 困ったときに**
 - 72 異常にお気づきのときは
 - 72 故障かな?と思ったら
 - 73 こんなメッセージが表示されたら…
- 76 本機を取り付けるときは**
 - 76 必ずお読みください
 - 78 配線をしましょう
 - 80 取り付けましょう
- 82 保証とアフターサービス (必ずお読みください)**
 - 83 ケンウッド 全国サービス網
- 84 用語集**
- 84 商標について**
- 85 仕様**

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

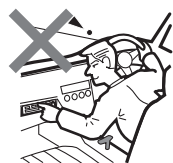


警告



実施

- 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
 - ・カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSB機器の接続・取り出しなど）



警告



実施

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。
- 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ・ 音が出ない
- ・ ディスプレイが表示されない
- ・ 異物が入った
- ・ 水がかかった
- ・ 煙が出る
- ・ 変な匂いがする



- 修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

- 本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

- 本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
- 本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

- 本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

ご使用前に

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、シフトJISです。

使用できる別売品のリモコンについて

別売品のリモコンについては、カタログをご覧ください。なるか、購入店にお問い合わせください。

なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外の音源に切り替えてください。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。

また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

パネルと本機の端子について

操作パネルと本体間のコネクター端子が汚れると電源が入らない、音が出ない、表示がおかしいなど故障と思われる症状になることがあります。この場合は、操作パネル側のコネクター端子を柔らかい布で軽く拭いてください。



コネクター端子

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタン(P.72)を押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

お気をつけください

- USB機器、iPod、SDカードを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPod、SDカードが変形や故障する場合があります。
- 以下のディスクは使用しないでください。

特殊な形状のディスク

円形以外のディスクは、故障の原因になります。



記録面（レーベル面の裏）に着色や汚れがあるディスク

引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。



マークのないディスク

正しく再生されない可能性があります。

ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW

お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）を行ってください。

ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしていても、記録状態によって再生できない場合があります。

汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク

音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。

表面に紙テープなどが貼られたディスク、レーベルのノリがはみ出したディスク

ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかつたり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

ご使用の前に

電波について (U585BTのみ)

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - － 分解/改造すること
 - － 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。



2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS変調方式を表します。

1 : 電波と干渉距離は10 mです。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10 mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - － 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - － ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

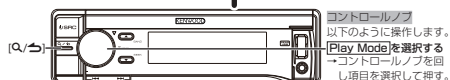
本書の読みかた

この取扱説明書には、以下のようなイラストや表示が使用されています。
ここでは、それぞれの表示の意味をご紹介します。

「その操作でできること」をタイトルとして記載しています。目的の機能を探す目印としてお使いください。

対象ページ内で説明されている操作に必要なボタンを示しています。操作するボタンの位置確認にお役立てください。

いろいろな機能を使って再生しよう



操作に必要な条件やできないことなどの、補足情報を記載しています。

リピート・ランダム再生をする

ディスク・フォルダ内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 [Play Mode]を選択する
- 3 設定項目を選択し、コントロールノブを押す
コントロールノブを押すと、オン(ON)/オフ(OFF)が切り替わります。

オーディオファイルの場合

設定項目	機能
Folder Random	フォルダ内の曲をランダムな順番で再生します。
All Random	すべての曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。
Folder Repeat	再生中のフォルダの曲を繰り返し再生します。

CDの場合

設定項目	機能
Disc Random	ディスクの曲をランダムな順番で再生します。
Track Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。

MEMO

・KENWOOD Music Editor Light (P.27) を使用して作成したデータでは、Folder Repeatはできません。

- 4 [Q/△]を1秒以上押して終了する

♪こんなときは…

- ・ランダム再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- ・リピート再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。

枠で囲んだ文字は、ディスプレイに表示される文字を表しています。

関連する機能・操作を紹介しています。

章の内容を表しています。

ディスクやオーディオファイルを読む


MEMO

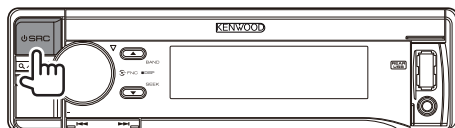
- ・本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための例です。そのため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

時計を調整しよう

本機をご使用になる前に、時計を調整しましょう。

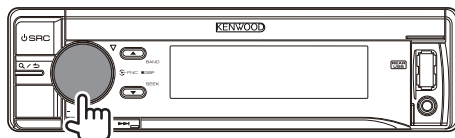
1

 を押す
電源がオンになります。



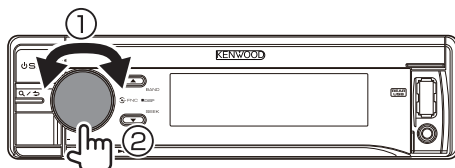
2

コントロールノブを押す
ファンクションモードになります。



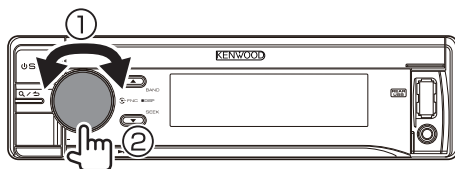
3

① コントロールノブを回して
「Settings」表示させ、
② コントロールノブを押す



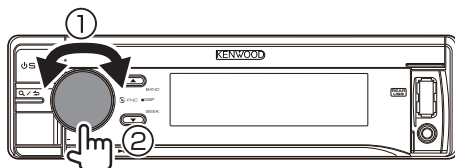
4

① コントロールノブを回して
「Clock & Date」表示させ、
② コントロールノブを押す



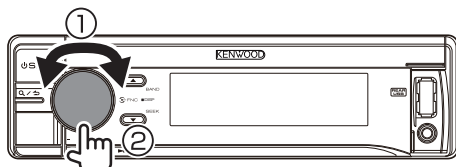
5

① コントロールノブを回して
「Clock Adjust」表示させ、
② コントロールノブを押す
時計調整モードになります。



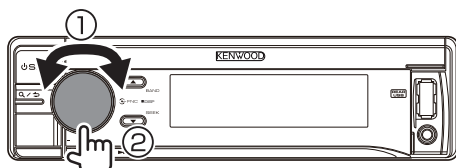
6

- ① コントロールノブを回して「時」を調整し、
 - ② コントロールノブを押す
- ※「時」の設定をやり直す場合は、**◀◀**を押します。



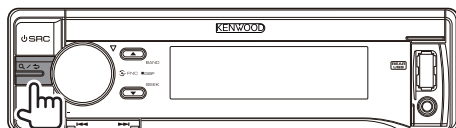
7

- ① コントロールノブを回して「分」を調整し、
 - ② コントロールノブを押す
- ※時計調整が終わります。



8

- ≡** を押し続ける
ファンクションモードが終了します。



本機でできること

U585BT/ U585SDでできることをご紹介します。
各機能の詳しい操作内容は参照先ページをご覧ください。

ディスクを聴く

- CDはもちろん、MP3、WMA、AACの入ったCD-R/CD-RW/CD-ROMも聴ける！ (P.20)

※本書では、MP3、WMA、AACをまとめて「オーディオファイル」と表記しています。



iPodを聴く

- iPod、iPhoneの音楽を聴ける！ (P.22)
- たくさんの曲から、聴きたい曲をすぐに探せる！ (P.35)

※別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102が必要です。



USB機器をつなぐ

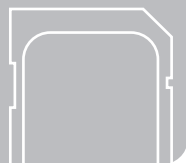
- お手持ちのUSB機器に入っている音楽を聴ける！ (P.21)
- 大量の曲も簡単に管理できる！ (P.30)

※別売品のUSBケーブル（推奨品「CA-U1EX」）が必要です。



SDカードを聴く

- SDカードに入っている音楽を聴ける！ (P.23)
- 大量の曲も簡単に管理できる！ (P.30)



ポータブルオーディオなどをつなぐ

- お手持ちのデジタルオーディオプレーヤーとつないで再生できる！ (P.25)

※市販品のステレオミニプラグケーブル(3.5φ)が必要です。



ラジオを聴く

- よく聴く放送局を登録できる！ (P.20)
- ワンタッチで放送局を呼び出せる！ (P.40)

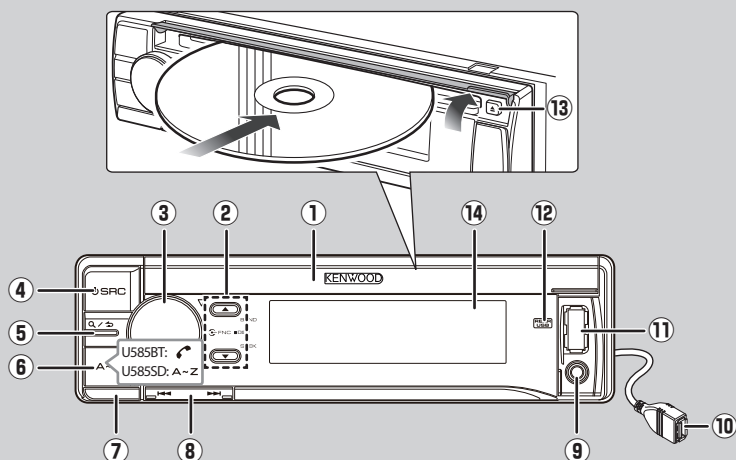


Bluetoothを使う (U585BTの機能)

- ハンズフリー通話ができる！ (P.44)
- Bluetoothオーディオが聴ける！ (P.47)



各部の名称とはたらき



■各ボタンの機能

番号	ボタン名称	機能
①	ディスク挿入口カバー	上へ開くとディスク挿入口が現れます。
②	[▲/▼] (バンド/シーク) モードボタン	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ受信時に、▲を押してバンドを選択します。また、▼を押してSeek Modeを選択します。(P.66) オーディオファイルの再生中に上下に押して、フォルダを選択します。
③	コントロールノブ	<ul style="list-style-type: none"> 左右に回して、音量を調節します。(P.19) CDやオーディオファイルの検索中に押して、選択した曲やフォルダを決定します。(P.30) 押すと各機能の設定モードに切り替えます。(P.19) 設定操作時に、左右に回して項目を選択し、押すと選択した項目の設定を決定します。(P.19)
④	[SRC] (ソース) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源をオンにします。1秒以上押すと、本機の電源をオフにします。(P.18) ラジオやCDなどの音源を切り替えます。(P.18)
⑤	[Q/↶] (サーチ/リターン) ボタン	<ul style="list-style-type: none"> CDやiPod、SD、オーディオファイル再生時に、曲を検索します。(P.30) CDやiPod、SD、オーディオファイル、Bluetoothオーディオ再生時に1秒以上押すと、一時停止/再生します。 設定操作中、一つ前の項目に戻ります。(P.19) オーディオファイル検索時は、一つ上のフォルダに戻ります。 1秒以上押すと、設定モードやオーディオコントロールモードまたはミュージックサーチモードを解除します。

各部の名称とはたらき

番号	ボタン名称	機能
⑥	[☎]ハンズフリーボタン (U585BT)	• ハンズフリー通話の発信、応答、切断をします。(P.44)
	[A~Z]ボタン (U585SD)	• iPodのミュージックサーチモード中に押すと、アルファベットサーチモードになります。(P.36) • 1秒以上押すとAPP & iPod Modeが切り替わります。(P.34)
⑦	リリースボタン	押すと、操作パネルが取り外せます。(P.71)
⑧	[◀◀/▶▶] (サーチ) ボタン	• ラジオの周波数を切り替えます。(P.39) • ◀◀を1回押すと、再生中の曲を先頭から再生します。2回押すと、1つ前の曲を再生します。 • ▶▶を押すと、1つ後の曲を再生します。 • 押し続けると、早戻し/早送りします。
⑨	AUX端子	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.25)
⑩	リアUSB端子	USB機器/ iPodを接続します。(P.21) (P.22)
⑪	フロントUSB端子	USB機器/ iPodを接続します。(P.21) (P.22)
⑫	REAR USB インジケータ	リアUSB端子にUSB機器またはiPodが接続されているときに点灯します。また接続している機器を再生中などは点滅をします。(P.21) (P.22)
⑬	[▲] (イジェクト) ボタン	ディスクを取り出します。
⑭	ディスプレイ	時計や再生中の曲タイトルなど、本機の動作内容を表示します。

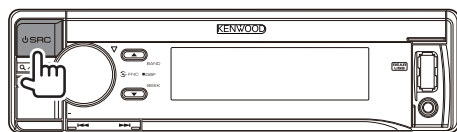
共通の操作を覚えよう

電源を入れてみよう

まずは、本機の電源を入れてみましょう。

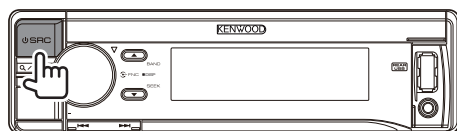
1 [SRC]を押す

本機の電源がオンになります。
[SRC]を1秒以上押すと、本機の電源が
オフになります。



音源を切り替えよう

1 [SRC]を聴きたい音源が表示される まで数回押す



MEMO

• ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

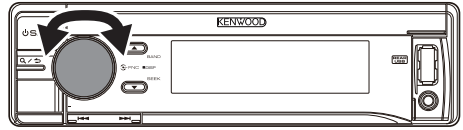
STANDBY	: 何も再生していない状態
TUNER	: ラジオ
USB(FRONT)	: フロントUSB端子に接続したUSB機器
USB(REAR)	: リアUSB端子に接続したUSB機器
iPod(FRONT)	: フロントUSB端子に接続したiPodまたはiPhone
iPod(RAER)	: リアUSB端子に接続したiPodまたはiPhone
BT AUDIO	: Bluetoothオーディオ (U585BTのみ)
SD	: SDカード
CD	: ディスク
AUX	: 外部機器

MEMO

- “SRC Select” (P.67) が “2” に設定されているときは、[SRC]を押したあとにコントロールノブを回して音源を表示させ、コントロールノブを押して音源を切り替えます。
- 再生の準備ができていない音源 (ディスクが挿入されていないときの **CD** など) は表示されません。

音量を調整しよう

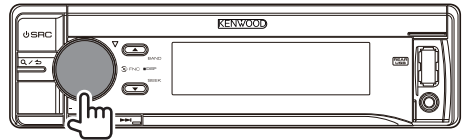
- 1 コントロールノブを回す
右に回すと音量が大きくなり、左に回すと小さくなります。



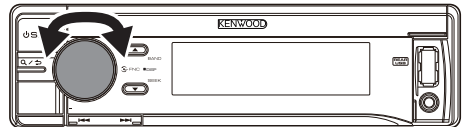
設定項目を選択しよう

音源ごとの設定項目など選択するとき下記の方法で行います。

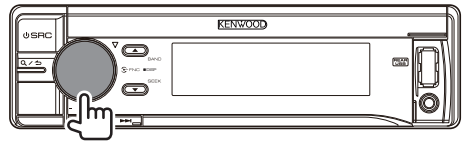
- 1 コントロールノブを押す



- 2 コントロールノブを回して、表示を切り替える



- 3 コントロールノブを押して、表示された項目を決定する
この操作を繰り返します。



MEMO

- 1つ前の項目に戻るときは、[Q/←]を押します。

まずはここから覚えてください

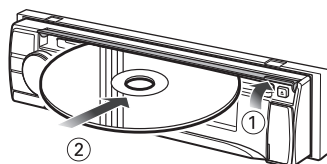
お好みの音源を聴いてみよう

本機で聴けるそれぞれの音源の基本操作について説明します。

ディスクを聴くには

ディスクを挿入する

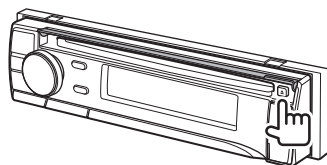
- 1 ディスクカバーを上を開く。
- 2 ディスク挿入口にディスクを水平に差し込む
差し込んだディスクが再生されます。



- 3 ディスクカバーを閉じる。

ディスクを取り出す

- 1 ディスクカバーを上を開く。
- 2 [▲]を押す



MEMO

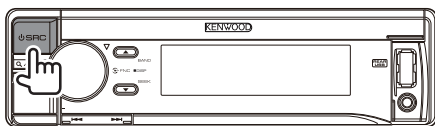
- 8cmディスクは使用できません。

• こんなときは… •

- 再生機能を変えたい → P.29
- すでに本機に入っているディスクを再生したい
→[SRC]をディスプレイに[CD]と表示されるまで数回押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.26

ラジオを聴くには

- 1 [SRC]を [TUNER] と表示されるまで数回押す
ラジオが受信されます。



• こんなときは… •

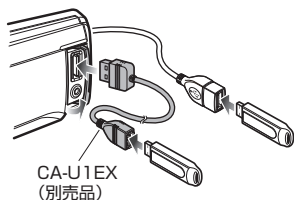
- バンドを変えたい → [▲]を押す。(P.39)
- 聴きたい放送局を探す → P.39

USB機器を聴くには

フロントUSB端子に接続するときは、別売品のUSBケーブル（推奨品「CA-U1EX」）が必要です。

USB機器を接続する

- 1 USB機器をUSB端子の奥まで確実にUSB端子に差し込む



USB機器内のオーディオファイルが再生されます。

フロントとリアどちらのUSB端子にも iPod および USB デバイスが接続可能です。

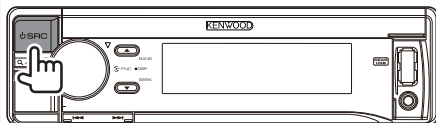
リアのUSB端子にデバイスを接続すると“REAR USB”インジケータが点灯します。また接続している機器を再生中などは点滅をします。

● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.29
- すでに接続されているUSB機器を再生したい
→ [SRC]をディスプレイに **USB** (“FRONT”または“REAR”) と表示されるまで数回押す。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.26

USB機器を取り外す

- 1 [SRC]を数回押して音源表示を **USB** (“FRONT”または“REAR”) 以外にする



- 2 USB機器を取り外す

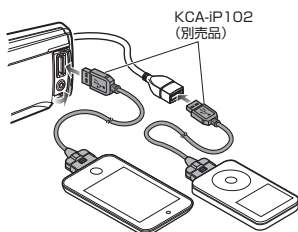
MEMO

- この操作を行わずにUSB機器を取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。
- 充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。（本機の電源オン時のみ）

iPodを聴くには

iPodを接続する

- 1 お手持ちのiPod/iPhoneをiPod接続ケーブル KCA-iP102 (別売品) を使用して、奥まで確実にUSB端子に差し込む



iPod内のオーディオファイルが再生されます。(最大供給電流：1 A)

フロントとリアどちらのUSB端子にもiPodおよびUSBデバイスが接続可能です。

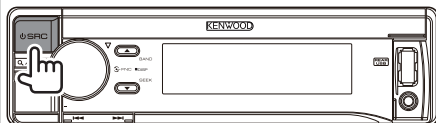
リアのUSB端子にデバイスを接続すると“REAR USB”インジケータが点灯します。また接続している機器を再生中などは点滅をします。

● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.34
- すでに接続されているiPodを再生したい
→ [SRC]をディスプレイに **iPod** (“FRONT”または“REAR”) と表示されるまで数回押す。
- iPod内の曲を選びたい
→ P.35

iPodを取り外す

- 1 [SRC]を数回押して音源表示を **iPod** (“FRONT”または“REAR”) 以外にする



2 iPodを取り外す

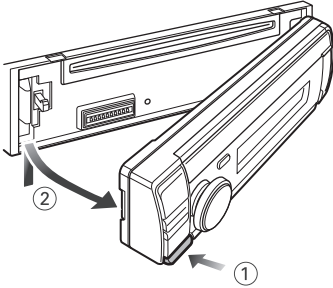
MEMO

- この操作を行わずにiPodを取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。
- iPod接続中は、iPodが充電されます。(本機の電源オン時のみ)

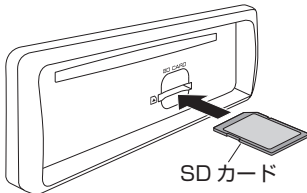
SDカードを聴くには

SDカードを挿入する

- 1 リリースボタンを押して操作パネルを取り外す

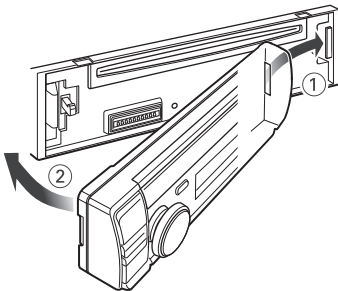


- 2 SDカードをSDカードスロットに挿入する



SDカードはラベルを上、切り込みを右にしてクリックするまで挿入します。

- 3 操作パネルを取り付ける



- 4 [SRC]を [SD] と表示されるまで数回押す

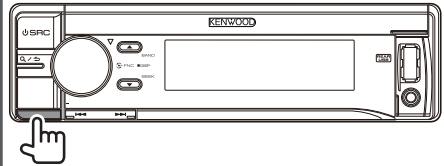
SDカード内のオーディオファイルが再生されます。

● こんなときは… ●

- ・再生機能を変えたい → P.29
- ・再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.26

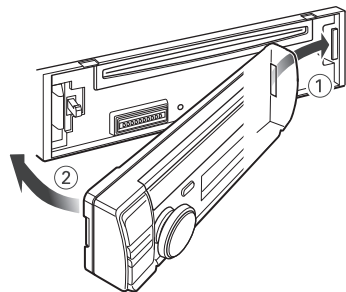
SDカードを取り外す

- 1 リリースボタンを押して操作パネルを取り外す



- 2 SDカードをクリックするまで押す
SDカードが出てきたら取り出します。

- 3 操作パネルを取り付ける



まずはここから覚えてください

Bluetoothオーディオを聴くには (U585BTのみ)

Bluetoothデバイスを登録する

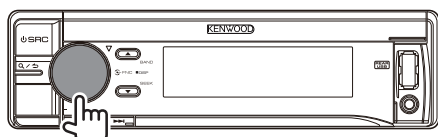
1 Bluetoothデバイス进行操作して、本機に接続要求を行う

Bluetoothデバイスの操作説明書を参照してください。

Bluetoothデバイスに本機の名称 (“U5**BT”) が表示されます。

本機には “Press the volume knob” と表示されます。

2 コントロールノブを押す



登録が始まり、完了すると “Pairing Success” と表示されます。

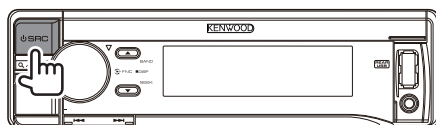
Bluetoothデバイスによっては、PINコードの入力が求められます。その場合は設定してあるコード (初期設定「0000」) を入力します。

MEMO

- 本機に聴きたいBluetoothデバイスの登録をしないと、Bluetoothオーディオを聴くことはできません。
- Bluetoothデバイスの音声は、初期状態ではフロントスピーカーからのみ出力される設定になっています。リアスピーカーからも音声を出力したい場合は、「Bluetoothの初期設定を変更しよう」(P.69)の“Bluetooth HF/Audio”を“All”に設定してください。

Bluetoothデバイスを聴く

1 [SRC]を [BT AUDIO] と表示されるまで数回押す



• こんなときは… •

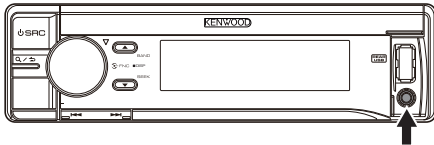
- 再生機能を変えたい → P.48

外部機器を聴くには

- 1 AUX端子に市販のステレオミニプラグケーブル（3.5φ）を差し込む

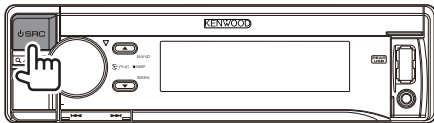
MEMO

- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。



- 2 ケーブルをお手持ちの外部機器のヘッドホン端子に接続する

- 3 [SRC]を [AUX] と表示されるまで数回押す



- 4 外部機器を再生する
外部機器が本機から再生されます。

• こんなときは… •

- AUXソースにすると音量が変わる
→Volume OffsetでAUXソースの音量を調整する。(P.54) (P.57)

ディスクやオーディオファイルを聴く

本機で使えるメディアとオーディオファイル

本機で使用できるメディアやオーディオファイルの種類、使用できる接続機器は以下のとおりです。

ディスク種類	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクフォーマット	ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Long file name
SDカード	SDカード (2GB以下)、SDHCカード (32GB以下)
USB機器	USBマストレージクラス
SDカード/USB機器ファイルフォーマット	FAT12、FAT16、FAT32
オーディオファイル	AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、WAV (.wav) (USB機器/SDカードのみ)

(2012年11月現在)

MEMO

- 上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアおよび機器の種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- オーディオファイルは、あらかじめバックアップを行ってください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしませんのでご了承ください。
- オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを下記URLにて公開しています。
www.kenwood.com/cs/ce/audiofile/
- miniSDカード、miniSDHCカード、microSDカード、またはmicroSDHCカードを使用するときは変換アダプターが必要です。
- マルチメディアカード (MMC) は使用できません。
- SD-Audioフォーマットのオーディオファイルは再生できません。
- USBハブやマルチカードリーダーを介してUSB機器を認識させることはできません。

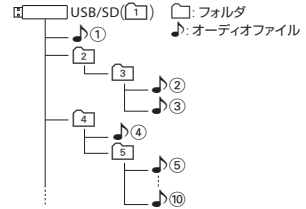
SDカード/USB機器を聴くときは

以下のお知らせをよく読んでからご使用ください。

オーディオファイルの再生順序

右図の例では、①から⑩の順で再生されます。
ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。

また、KENWOOD Music Editor Light ver 1.1（下記）を使用してデータベースを作成することにより、希望の順序で再生が可能となる場合があります。



KENWOOD Music Editor Light/ KENWOOD Music Controlについて

- 本機は、PCアプリケーション“KENWOOD Music Editor Light”とAndroid™アプリケーション“KENWOOD Music Control”に対応しています。
- “KENWOOD Music Editor Light”または“KENWOOD Music Control”を使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。
- “KENWOOD Music Editor Light”および“KENWOOD Music Control”は、下記URLからダウンロードできます。

www2.jvckenwood.com/products/car_audio/app/

ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示

ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示について説明します。



MEMO

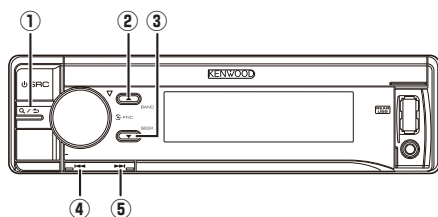
- ディスプレイの表示を曲名、時計表示などに変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示タイプを切り替える (ディスプレイコントロール) (P.49) をご覧ください。

ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する→①[Q/⏸]を1秒以上押す
- 一時停止から再生する→①[Q/⏸]を1秒以上押す
- 早送りする→⑤[▶▶]を押し続ける
- 早戻しする→④[◀◀]を押し続ける
- 曲の先頭に戻る→④[◀◀]を押す
- 前の曲を聴く→④[◀◀]を2回押す
- 次の曲を聴く→⑤[▶▶]を押す
- 次のフォルダに進む→②[▲]を押す
- 前のフォルダに戻る→③[▼]を押す

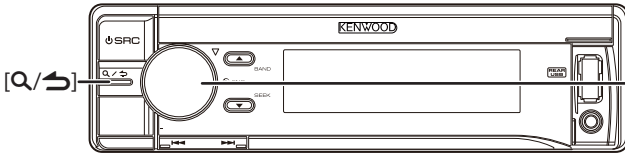


MEMO

- オーディオファイルでは、早送り／早戻し中には音声が出ません。
- KENWOOD Music Editor Light (P.27) を使用して作成したデータでは、フォルダの選択はできません。



いろいろな機能を使って再生しよう



コントロールノブ
 以下のように操作します。
Play Modeを選択する
 →コントロールノブを回し項目を選択して押す。

リピート・ランダム再生をする

ディスク・フォルダ内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 **Play Mode**を選択する
- 3 設定項目を選択し、コントロールノブを押す
 コントロールノブを押すと、オン(“”) / オフ(“”) が切り替わります。

オーディオファイルの場合

設定項目	機能
Folder Random	フォルダ内の曲をランダムな順番で再生します。
All Random	すべての曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。
Folder Repeat	再生中のフォルダの曲を繰り返し再生します。

CDの場合

設定項目	機能
Disc Random	ディスクの曲をランダムな順番で再生します。
Track Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。

MEMO

- KENWOOD Music Editor Light (P.27) を使用して作成したデータでは、Folder Repeatはできません。

4 [Q/⏪]を1秒以上押して終了する

♪ こんなときは…

- ランダム再生を中止する
 →手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
 →手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。

ディスクやオーディオファイルを聴く

聴きたい曲を探す (ミュージックサーチ)

曲をリスト表示にして探します。

1 [Q/△]を押す

2 以下の操作で聴きたい曲を選択する

オーディオファイルの場合

再生中のフォルダが表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	コントロールノブを回す
オートスクロールモードにする	[▲]/[▼]を1秒以上押す。解除する場合は、[▲]/[▼]を押す。
表示フォルダの選択または表示ファイルの再生	コントロールノブを押す
1つ上の階層に戻る	[Q/△]を押す
ルートフォルダ（最上階層）に戻る	[◀◀]を1秒以上押す

CDの場合

トラックがリスト表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
トラック表示切り替え	コントロールノブを回す
表示トラックの再生	コントロールノブを押す
最初のトラックに戻る	[◀◀]を1秒以上押す

MEMO

- KENWOOD Music Editor Light (P.27) を使用してオーディオファイルのデータベースを作成している場合は、タイトル・アルバム名・アーティスト名などのフォルダが表示されます。

- ファイル名が表示されているときは、ファイル名の最初に「♪」が表示されます。再生中のファイルには「🎵」が表示されます。
- フォルダ名が表示されているときは、フォルダ名の最初に「📁」が表示されます。

♪ こんなときは…

- ミュージックサーチを中止する
→ [Q/△]を1秒以上押す。



すばやくスクロールして曲を探す (スキップサーチ)

選択しているリスト項目の曲数に応じて、すばやくスクロールして曲を検索します。KENWOOD Music Editor Lightで作成したメディアのみで使用できる機能です。

- 1 [Q/△]を押す
- 2 コントロールノブを1秒以上押す
- 3 **Skip Search** を選択する
- 4 聴きたい曲を探す

以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	コントロールノブを回す
スキップサーチ	[▲]/[▼]を押す
表示フォルダの選択または表示ファイルの決定	コントロールノブを押す
スキップサーチの割合を変える	[◀◀]/[▶▶]を押す

MEMO

- スキップの割合は、「音源ごとに設定を変更しよう」(P.66)でも設定できます。

- 5 コントロールノブを押す
サーチモードが解除され、決定している曲の再生が始まります。

iPodを聴く

iPodについて

別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102で接続します。本書で断りの無い限り、「iPod」と呼んでいるのは別売品のiPod接続ケーブル KCA-iP102で接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

本機から操作できるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

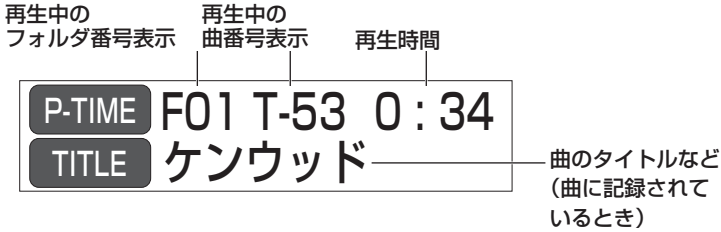
MEMO

- iPodを接続すると、本機での再生はiPodで再生していた曲から始まります。
- iPod/iPhoneに“アクセサリが接続中”または“KENWOOD”と表示されているときは、iPod/iPhoneの操作はできません。
- iPodのソフトウェアに関する適合情報は下記URLを参照してください。
www.kenwood.com/cs/ce/ipod/
- 接続しているiPodにより、使用できる機能が異なります。詳しくは下記URLを参照してください。
www.kenwood.com/cs/ce/ipod/



iPod再生中の画面表示

iPod再生中の画面表示について説明します。



MEMO

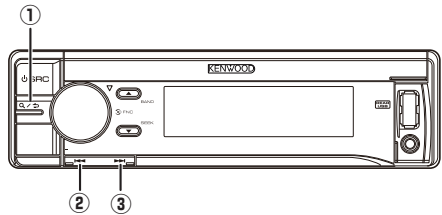
- ディスプレイの表示をリスト番号や再生時間、時計表示などに変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示タイプを切り替える (ディスプレイコントロール)」(P.49)をご覧ください。

iPod再生中に使うボタン

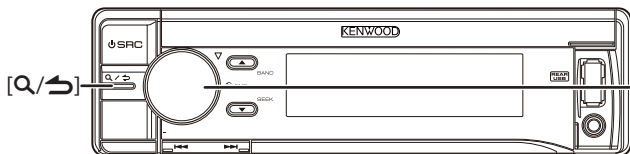
再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する→①[Q/⏸]を1秒以上押す
- 一時停止から再生する→①[Q/⏸]を1秒以上押す
- 早送りする→③[▶▶]を押し続ける
- 早戻しする→②[◀◀]を押し続ける
- 曲の先頭に戻る→②[◀◀]を押す
- 前の曲を聴く→②[◀◀]を2回押す
- 次の曲を聴く→③[▶▶]を押す



いろいろな機能を使って再生しよう



コントロールノブ
以下のように操作します。
Play Modeを選択する
→コントロールノブを回し項目を選択して押す。

iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える

iPod接続中は、本機から操作できるモード（APP & iPod ModeがOFFの状態）と、iPodから操作できるモード（APP & iPod ModeがONの状態）のいずれかで操作します。モードを切り替えるには以下の手順を行います。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 **APP & iPod Mode** を選択して、ON/OFFを切り替える

MEMO

- 接続したiPodがAPP & iPod Modeに対応している場合のみ操作できます。対応していないiPodを接続した場合は、設定項目が表示されません。詳しくは以下のURLを参照してください。
www.kenwood.com/cs/ce/ipod/
- APP & iPod ModeをONに設定しているときに本機から可能な操作は、一時停止、早送り／早戻し、前の曲・次の曲の選択です。
- APP & iPod ModeをONに設定している間は、本機のディスプレイに“APP & iPod Mode”と表示されます。
- U585SDでは[A～Z]を1秒以上押すと、APP & iPod ModeのON/OFFが切り替えられます。

リピート・ランダム再生をする

iPod内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 **Play Mode** を選択する
- 3 設定項目を選択する
コントロールノブを押すと、オン（“**ON**”）/オフ（“**OFF**”）が切り替わります。

設定項目	機能
Folder Random	選択したリストの曲をランダムな順番で再生します。
All Random	iPodの曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。

- 4 [Q/♪]を1秒以上押して終了する

♪ こんなときは…

- ランダム再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。



MEMO

- iPodの曲数によっては、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- All Random機能をONにすると、iPodのリスト項目が“Songs”に変更されます。All Random機能をOFFにしても“Songs”のままとなります。
- All Random機能がONのときに、リストから曲を変更すると、All Random機能はOFFになり、選択した項目内の全曲をランダム (Folder Random) に再生します。

リストから曲を探す

リストから聴きたい曲を探します。(ミュージックサーチ)

1 [Q/↵]を押す

2 以下の操作で聴きたい項目を選択する

曲名を選択するまで同様の操作を繰り返します。

動作	操作
リストの切り替え	コントロールノブを回す
リスト選択または選択した曲の再生	コントロールノブを押す
1つ上の階層に戻る	[Q/↵]を押す
トップメニューに戻る	[⏪]を1秒以上押す

選択した曲を含むリストが再生されます。

こんなときは…

- ミュージックサーチを中止する
→ [Q/↵]を1秒以上押す。

MEMO

- 曲名が表示されているときは、曲名の最初に「♪」が表示されます。
- 曲名などで表示できない文字は“?”が表示されます。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示します。

項目	表示
プレイリスト	“PLIST***”
アーティスト	“ART***”
アルバム	“ALB***”
曲名やファイル名	“PRGM***”
ポッドキャスト	“PDCT***”
ジャンル	“GEN***”
作曲者	“COM***”

文字を入力して曲を探す (アルファベットサーチ)

選択中のリスト項目から、特定の文字を含む曲を検索します。

- 1 [Q/⌘]を押す
- 2 検索したいカテゴリーを選択する
- 3 コントロールノブを1秒以上押す
- 4 **Alphabet Search** を選択する
- 5 検索したいアルファベットを選択する

検索が開始され、該当するリストが表示されます。曲を選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

MEMO

- U585SDでは、手順2で[A~Z]を押すと、すぐにアルファベットサーチモードになります。
- iPodの曲数によっては、検索に時間がかかる場合があります。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。
- A~Zまたは1以外の文字で始まる曲を検索したいときは「*」を入力します。

♪ こんなときは…

- アルファベットサーチを中止する
→ [Q/⌘]を1秒以上押す。

すばやくスクロールして曲 を探す (スキップサーチ)

選択しているリスト項目の曲数に応じて、すばやくスクロールして曲を検索します。

- 1 [Q/⌘]を押す
- 2 コントロールノブを1秒以上押す
- 3 **Skip Search** を選択する
- 4 聴きたい曲を探す

以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
曲の切り替え	コントロールノブを回す
スキップサーチ	[▲]/[▼]を押す
スキップサーチの割合を変える	[◀◀]/[▶▶]を押す

MEMO

- 3秒以上[▲]/[▼]を押すと、設定に関係なく10%の割合で曲をスキップして表示します。例えば選択したリスト内の曲が100曲の場合、10曲ずつスキップします。
- スキップの割合は、「音源ごとに設定を変更しよう」(P.66)でも設定できます。

- 5 コントロールノブを押す
サーチモードが解除され、決定している曲の再生が始まります。

♪ こんなときは…

- スキップサーチを中止する
→ [Q/⌘]を1秒以上押す。

ジャンルと文字で曲を探す (ダイレクトサーチ)

選択しているリスト項目の曲数に応じて、すばやくスクロールして曲を検索します。

- 1 [Q/⌘]を押す
- 2 コントロールノブを1秒以上押す
- 3 **Direct Search** を選択する
- 4 検索するリスト項目を選択し、コントロールノブを押す

項目	表示
プレイリスト	PLAYLISTS
アーティスト	ARTISTS
アルバム	ALBUMS
曲名やファイル名	SONGS
ポッドキャスト	PODCASTS
ジャンル	GENRES
作曲家	COMPOSERS

- 5 検索する頭文字を選択し、コントロールノブを押す
操作を繰り返して、3文字まで選択できます。

MEMO

- 入力できる文字は、A～Z、0～9、*です。
- A～Zまたは0～9以外の文字で始まる項目を検索したいときは「*」を入力します。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後続く文字で探します。

- 6 **DONE** を選択し、コントロールノブを押す

検索が開始され、該当する曲のリストが表示されます。ここからは、「リストから曲を探す」(P.35)の手順2を参照して曲を選びます。

♪ こんなときは…

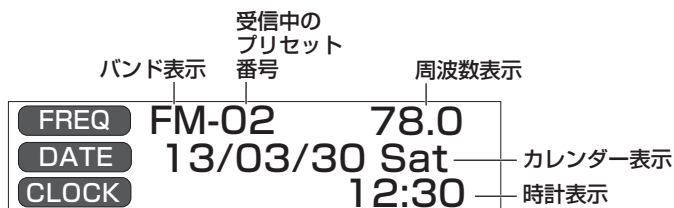
- ダイレクトサーチを中止する
→ [Q/⌘]を1秒以上押す。



ラジオを聴く

ラジオ受信中の画面表示

ラジオ受信中の画面表示について説明します。



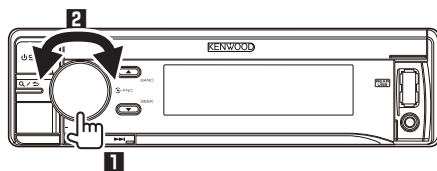
MEMO

- 受信状態が悪いときなど、FMステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。詳しくは「**MONO**」(P.66)をご覧ください。
- ディスプレイの表示を時計表示などに変更することができます。詳しくは「**ディスプレイの表示タイプを切り替える(ディスプレイコントロール)**」(P.49)をご覧ください。

交通情報を聴く

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 **TI** を選択し、コントロールノブを押す
交通情報が受信されます。



[SRC]を押すと、交通情報の受信を中止して受信前の状態に戻ります。

♪ こんなときは…

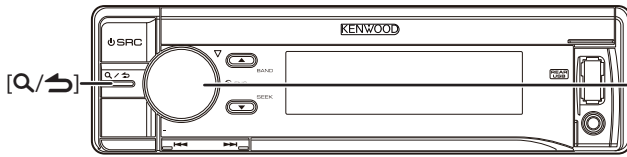
- 交通情報の受信周波数を切り替えたい→ [◀◀]/[▶▶]を押して522kHz/ 1620kHz/ 1629kHzのいずれかに合わせる。

MEMO

- 交通情報の受信中にコントロールノブを回して音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聴くことができます。



ラジオを聴く



コントロールノブ

以下のように操作します。

Settingsを選択する
→コントロールノブを回し項目を選択して押す。

聴きたい放送局を自動で探す

- 1 **[▲]**を押して聴きたいバンドを受信する
押すたびにFMとAMに切り替わります。
- 2 **[◀▶]**を押す
受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

♪こんなときは…

- 手動で周波数を合わせたい
→ P.66を参照して“Seek Mode”を“Manual”に設定し、**[◀▶]**を押して周波数を合わせる。

放送局を手動登録する

- 1 お好みの放送局を受信する
- 2 **[Q/↵]**を押す
- 3 プリセット番号 (1 ~ 12) を選択し、コントロールノブを1秒以上押す
その番号のボタンに、受信中の放送局が登録されます。

MEMO

- 手順2で**[Q/↵]**を2回押すとミックスプリセットモードになります。
ミックスプリセットモードにすると、放送局の登録・呼び出しに関してAMとFMの区分けがなくなります。
ミックスプリセットモードに記憶した放送局は、バンドを切り替えることなく希望する放送局を呼び出せます。
ただしミックスプリセットモード中に登録できる放送局は6局までになります。



放送局を自動登録する (オートメモリー)

- 1 [▲]を押して聴きたいバンドを受信する
- 2 コントロールノブを押す
- 3 **Settings** を選択する
- 4 **Auto Memory** を選択する
- 5 **YES** を選択する
受信状態の良い放送局が、自動的に最大で12局登録されます。

MEMO

- バンドごとに、12局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

登録した放送局を呼び出す

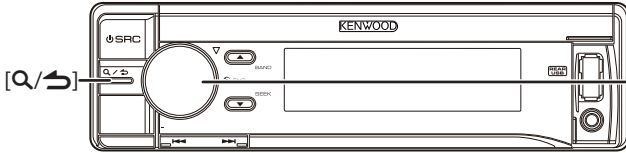
- 1 [▲]を押して聴きたいバンドを受信する
- 2 [Q/↶]を押す
- 3 聴きたい放送局の登録されているプリセット番号を選択する
その番号に登録されている放送局が受信されます。

♪ こんなときは…

- 登録された放送局を順に受信したい
→ P.66を参照して
“Seek Mode”を“Auto2”に設定すると、[◀◀]/[▶▶]を押すごとに順に受信します。
(ミックスプリセットモード (P.39) 中もAM、FM別に受信します)



Bluetoothデバイスを登録する (U585BTのみ)



コントロールノブ
以下のように操作します。
Settingsを選択する
→コントロールノブを回
し項目を選択して押す。

本機とペアリングできる Bluetoothデバイス

本機に登録して使用できるBluetoothデバイスの仕様は以下のとおりです。

対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR準拠
対応プロファイル	HFP (Hands Free Profile) SPP (Serial Port Profile) A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) PBAP (Phonebook Access Profile) OPP (Object Push Profile)

MEMO

- HFPはハンズフリー通話機能を使用するために必要なプロファイルです。
- PBAPは携帯電話の電話帳を本機にコピーするために必要なプロファイルです。
- A2DPとAVRCPはBluetoothオーディオをコントロールするために必要なプロファイルです。

Bluetoothデバイスの登録

本機とBluetoothデバイスを登録します。

- 1 登録するBluetoothデバイス进行操作して、本機に接続要求を行う
Bluetoothデバイスに本機の名称("U5**BT")が表示されます。
本機には"Press the volume knob"と表示されます。
- 2 コントロールノブを押す
登録が始まり、完了すると"Pairing Success"と表示されます。
Bluetoothデバイスによっては、PINコードの入力を求められます。その場合は設定してあるコード(初期設定「0000」)を入力します。

MEMO

- Bluetoothデバイスは5台まで登録できます。
- 本機はApple Auto Pairing機能に対応しています。本機にiPod touchまたはiPhoneをKCA-iP102(別売品)で接続すると、Bluetoothデバイスとして自動的に登録できます。自動登録をしたくない場合は「Bluetoothの初期設定を変更しよう」(P.69)の"Auto Pairing"を"OFF"に設定してください。
- 登録しているBluetoothデバイスでSMSを受信すると、本機に"SMS Received"と表示されます。

使用するBluetoothデバイスを選択する

複数のBluetoothデバイスを登録している場合に、使用するデバイスを選択します。

- 1 を押す
- 2 **Settings** を選択する
- 3 **Pairing** を選択する
- 4 **Phone Selection** (携帯電話を選択する場合) または **Audio Selection** (Bluetoothオーディオを選択する場合) を選択する

5 使用するBluetoothデバイスを選択する

デバイスの状態がデバイス名称と共に表示されます。

- “*” : 接続中
- “-” : 接続待機中
- “ ” : 接続解除中

接続中のデバイスを選択すると、接続を解除できます。

6 を押して終了する

MEMO

- ・携帯電話が選択される場合は、選択されている携帯電話の接続を解除してから新たに選択し直します。

Bluetoothデバイスの登録を解除する

登録しているBluetoothデバイスを解除します。

- 1 を押す
- 2 **Settings** を選択する
- 3 **Pairing** を選択する
- 4 **Device Delete** を選択する
- 5 削除したいBluetoothデバイスを選択する
- 6 **YES** を選択する
“Completed” と表示され、選択したBluetoothデバイスが削除されます。
- 7 を押して終了する

電話帳をコピーする

携帯電話の電話帳が自動で本機にコピーされない場合は、以下の方法でコピーします。

- 1 を押す
- 2 **Settings** を選択する
- 3 **Transfer Phonebook** を選択する
コピーが開始され、“Downloading ### (件数)” と表示されます。
コピーが完了すると“Completed” と表示されます。
- 4 を押して終了する

MEMO

- ・携帯電話が電話帳の自動コピーに対応している場合は、この機能は使用できません。



電話帳を削除する

本機にコピーされた電話帳を削除します。

- 1 **[F]**を押す
- 2 **Phone Book** を選択する
電話帳が表示されます。
- 3 削除する名前を選択する
- 4 コントロールノブを2秒以上押す
- 5 削除する項目を選択する
“Delete Name”：選択した名前で登録されている電話番号を削除します。
“Delete Number”：選択した名前で登録されている電話番号を1つ削除します。続けて削除する電話番号の選択操作を行います。
“Delete All”：電話帳に登録されているすべての電話番号を削除します。
- 6 **YES** を選択する
削除が完了すると“Completed”と表示されます。
- 7 **[F]**を押して終了する

MEMO

- ・携帯電話が電話帳の自動コピーに対応している場合は、この機能は使用できません。

携帯電話の優先順設定

接続している携帯電話が2台ある場合に、優先して使用する携帯電話を設定します。

- 1 **[F]**を押す
- 2 **Device Priority** を選択する
- 3 **Sub -###-** を選択する
- 4 サブで使用する携帯電話を選択する

着信したときのみ使用する携帯電話を選択します。

“Main -###-”には、発信など通常使用する携帯電話が表示されます。

- 5 **[F]**を押して終了する

Bluetoothデバイス登録テスト

使用するBluetoothデバイスが本機で使用可能かテストします。

- 1 **[F]**を押す
- 2 **BT Test Mode** を選択する
- 3 Bluetoothデバイスを操作して、本機を登録する
Bluetoothデバイスに本機の名称(“U5**BT”)が表示されます。
本機には“Press the volume knpb”と表示されます。
- 4 コントロールノブを押す
登録が完了するとテストが自動的に始まります。
テストが完了するとテスト結果が表示されます。

表示	機能
“Pairing”	本機への登録
“HF Connect”	ハンズフリー通話
“AUD Connect”	Bluetoothオーディオ
“PB Download”	電話帳ダウンロード

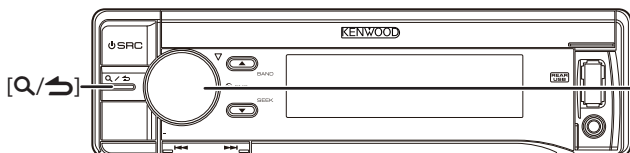
“OK”：機能が使用できます。

“NG”：機能は使用できません。

- 5 コントロールノブを押して終了する



ハンズフリー通話を利用する (U585BTのみ)



コントロールノブ
 以下のように操作します。
Settingsを選択する
 →コントロールノブを回し項目を選択して押す。

ハンズフリー通話機能を使用する前に、本機に本機にハンズフリー通話対応の携帯電話を登録する必要があります。詳しくは「Bluetoothデバイスの登録」(P.41)を参照してください。

電話をかける

本機にBluetoothデバイスを登録します。

- 1 **[☎]**を押す
ハンズフリーモードになります。
- 2 発信方法を選択する

表示	発信方法s
"Preset Call"	あらかじめ登録した電話番号に電話をかけます。(P.45)
"Phone Book"	電話帳から探して電話をかけます。(P.44)
"Call History"	履歴から探して電話をかけます。(P.45)
"Number Dial"	電話番号を入力して電話をかけます。(P.45)

以降の操作は、各モードの説明ページをご覧ください。

♪ こんなときは…

- ・ 発信方法の選択を中止する
→ **[☎]**を押す

電話帳を利用して電話をかける

電話帳に登録されている番号に電話をかけます。

MEMO

- ・ 電話帳は接続している携帯電話がPBAP (Phone Book Access Profile)に対応している場合は自動でコピーされます。PBAPに対応していない携帯電話を接続指定場合は「電話帳をコピーする」(P.42)を参照して手動でコピーしてください。

- 1 **[☎]**を押す
ハンズフリーモードになります。
- 2 **[Phone Book]**を選択する
電話帳が表示されます。
- 3 電話をかける名前を選択する
- 4 電話をかける番号を選択する
- 5 **[☎]**を押す
電話を発信します。



電話番号を入力して電話をかける

- 1 **[F]**を押す
ハンズフリーモードになります。
- 2 **Number Dial** を選択する
- 3 電話番号を入力する

動作	機能
数字を選択する	コントロールノブを回す。
入力桁を選択する	[◀◀]/[▶▶]を押す。

- 4 **[F]**を押す
電話を発信します。

MEMO

- 電話番号は32桁まで入力できます。

登録した番号に電話をかける

本機に電話番号を登録（プリセット）して、簡単に電話をかけることができます。プリセット番号を使用するには、あらかじめ電話番号を登録する必要があります。

プリセット番号を登録する

- 1 **[F]**を押す
ハンズフリーモードになります。
- 2 登録する電話番号を入力する
入力方法について詳しくは「電話番号を入力して電話をかける」(P.45)、「電話帳を利用して電話をかける」(P.44)、「履歴から電話をかける」(P.45)をご覧ください。
- 3 コントロールノブを1秒以上押す
- 4 プリセット番号（1～6）を選択し、コントロールノブを1秒以上押す

- 5 **[F]**を押して終了する

プリセット番号から電話をかける

- 1 **[F]**を押す
ハンズフリーモードになります。
- 2 **Preset Call** を選択する
- 3 プリセット番号（1～6）を選択する
- 4 **[F]**を押す
電話を発信します。

履歴から電話をかける

電話帳に登録されている番号に電話をかけます。

- 1 **[F]**を押す
ハンズフリーモードになります。
- 2 **Call History** を選択する
電話帳が表示されます。
- 3 名前または電話番号を選択する
 ▶：着信履歴
 ◀：発信履歴
 ✓：不在着信
 コントロールノブを押すごとに、表示が名前リストと詳細情報表示に切り替わります。
- 4 **[F]**を押す
電話を発信します。



ハンズフリー通話を利用する

電話を受ける

- 1 を押す
電話を受信します。

MEMO

- USBを接続するなど、音源を切り替えると通話が切断されます。
- 電話帳に名前が登録されている場合、電話をかけた人の名前がディスプレイに表示されます。
- 着信を拒否する場合は[SRC]を押します。

通話を終了する

- 1 を押す
通話が終了します。

プライベート通話に切り替える

携帯電話による通話と本機による通話に切り替えます。

- 1 通話中に[◀◀]/[▶▶]を押す
押すたびに通話が携帯電話と本機に切り替わります。

MEMO

- 携帯電話によってはプライベート通話に切り替えるとハンズフリー接続の前に聞いていた音源に戻ることがあります。このような場合は、本機ではハンズフリー通話に戻すことができません。携帯電話側を操作してハンズフリー通話に切り替えてください。

通話音量を調整する

- 1 コントロールノブを回す
次回の通話も調整した音量になります。

携帯電話の音声認識機能を利用する

本機に接続している携帯電話の音声認識機能を本機から利用します。電話帳の検索などを音声により行えます。使用できる音声機能は携帯電話に依存します。

- 1 を1秒以上押す
“Voice Control”と表示され、ボイスコントロールモードになります。
- 2 話し始めます
携帯電話に登録されているボイスタグなどを発声してください。

電話帳のカテゴリ表示について

電話帳の検索など電話番号のカテゴリを次のように表示します。

表示	情報
	一般
	自宅
	会社
	携帯電話
	その他

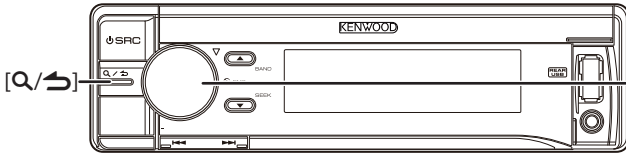
未接続表示を消す

本機に表示されている“HF Disconnect”を消します。

- 1 を押す



Bluetoothオーディオを聴く (U585BTのみ)



コントロールノブ
以下のように操作します。
[Settings]を選択する
→コントロールノブを回し項目を選択して押す。

Bluetoothオーディオを聴く前に、本機にBluetoothオーディオ機器を登録する必要があります。詳しくは「Bluetoothデバイスの登録」(P.41)を参照してください。

MEMO

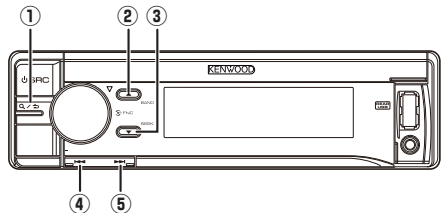
- Bluetoothオーディオ機器によっては、再生機能を正しくコントロールできない場合があります。
- 複数のBluetoothデバイスを登録している場合は、「使用するBluetoothデバイスを選択する」(P.42)を参照して使用するデバイスを選択してください。
- Bluetoothデバイスとの接続がいったん切れると、自動的に再接続できずにコントロールできなくなる場合があります。このような場合はBluetoothデバイスで、再度接続操作を行ってください。

Bluetoothオーディオの再生機能に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する→①[Q/♪]を1秒以上押す
- 一時停止から再生する→①[Q/♪]を1秒以上押す
- 早送りする→⑤[▶▶]を押し続ける
- 早戻しする→④[◀◀]を押し続ける
- 曲の先頭に戻る→④[◀◀]を押す
- 前の曲を聴く→④[◀◀]を2回押す
- 次の曲を聴く→⑤[▶▶]を押す
- 次のフォルダに進む→②[▲]を押す
- 前のフォルダに戻る→③[▼]を押す





リピート・ランダム再生をする

Bluetoothオーディオ内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

1 コントロールノブを押す

2 [Play Mode] を選択する

3 設定項目を選択する

コントロールノブを押すと、オン(“”) / オフ(“”) が切り替わります。

設定項目	機能
Random	フォルダ内の曲をランダムな順番で再生します。
All Random	すべての曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat	再生中の曲を繰り返し再生します。
All Repeat	すべての曲を繰り返し再生します。

4 [Q/↵]を1秒以上押して終了する

♪こんなときは…

- ランダム再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。



本機の設定をする

ディスプレイの表示を設定しよう

ディスプレイの表示タイプを切り替える (ディスプレイコントロール)

各音源再生中やスタンバイ時の画面表示タイプを切り替えます。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 [DISP& ILLUMI] を選択する
- 3 [Display Select] を選択する
- 4 [Type Select] を選択する
- 5 表示タイプを選択する
表示タイプについては以下をご覧ください。

表示タイプ	表示内容
3行テキスト表示モード ^{*1}	ラジオの周波数などの情報を表示します。
2行テキスト表示モード	ラジオの周波数、CDやオーディオの再生時間、iPodのタイトル/アーティスト名などの情報を表示します。
時計表示モード	時計を表示します。
スペアナ表示モード ^{*2}	スペクトラムアナライザーを表示します。
グラフィック表示モード ^{*3}	モーショングラフィックを表示します。
表示OFFモード	ディスプレイの表示を消します。

※1 一部の音源では選択できません。
 ※2 U585BTの機能です。スタンバイ時は選択できません。
 ※3 U585SDの機能です。

- 6 [Q/△]を1秒以上押して終了する

グラフィック表示を切り替える (Display Select)

ディスプレイのサイド表示などのグラフィック表示を切り替えます。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 [DISP& ILLUMI] を選択する
- 3 [Display Select] を選択する
- 4 設定項目を選択する

表示	設定内容
Type Select	表示タイプを切り替えます。前項を参照してください。
Side Select	テキスト表示モード時のサイドの表示を切り替えます。
Text Select	表示する情報を切り替えます。後項を参照してください。
Graphic Select ^{*1}	スペアナ表示を切り替えます。
Status	各音源の状態をインジケータで表示します。

※1 U585BTの機能です。

- 5 設定値を選択する
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

設定項目	設定
Side Select	タイトル表示 、音源アイコン、なし (3行/2行テキスト表示モード時のみ)
Graphic Select	タイプ1 、タイプ2
Status	表示有り、 表示なし

- 6 [Q/△]を1秒以上押して終了する

項目の表示を切り替える (Text Select)

ディスプレイに表示されるテキスト（アーティスト名や曲名、時計表示など）の項目を切り替えます。

MEMO

- この操作は、ディスプレイの表示タイプが「3行テキスト表示モード」および「2行テキスト表示モード」の場合のみ設定できます。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 **DISP& ILLUMI** を選択する
- 3 **Display Select** を選択する
- 4 **Text Select** を選択する

ディスプレイコントロール画面の表示方法は、「ディスプレイの表示タイプを切り替える（ディスプレイコントロール）」(P.49) をご覧ください。

- 5 **[▲]/[▼]**を押して設定する表示行を選択する
- 6 表示するテキストを選択する
内容は以下の表をご覧ください。

オーディオファイル/iPod

表示	項目
Title/Artist	タイトル/アーティスト名
Album/Artist	アルバム/アーティスト名
Folder Name	フォルダ名
File Name	ファイル名
P-Time	再生時間
Speana/Clock ^{*1}	スペアナ/時計
Clock ^{*2}	時計
Date	日付

CD

表示	項目
Disc Title	ディスク名
Track Title	トラック名
P-Time	再生時間
Speana/Clock ^{*1}	スペアナ/時計
Clock ^{*2}	時計
Date	日付

ラジオ

表示	項目
Frequency	周波数
Speana/Clock ^{*1}	スペアナ/時計
Clock ^{*2}	時計
Date	日付

Bluetoothオーディオ (U585BTのみ)

表示	項目
P-Time	再生時間
Title/Artist	タイトル/アーティスト名
Album/Artist	アルバム/アーティスト名
Speana/Clock	スペアナ/時計
Date	日付

外部機器

表示	項目
Source Name	音源名
Speana/Clock ^{*1}	スペアナ/時計
Clock ^{*2}	時計
Date	日付

STANDBY

表示	項目
Source Name	音源名
Clock	時計
Date	日付

※1 U585BTの機能です。

※2 U585SDの機能です。



MEMO

- 何も表示させない場合は、“Blank” を選択します。
- 選択している音源によって、表示できる項目は異なります。
- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodの再生中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のリスト項目に沿った名称が表示されます。
- iPodの場合、すべての文字が表示できないとき、選択したリストのファイル番号が表示されます。

表示	項目
"TITLE***"	曲名
"FLD***"	フォルダ名
"FILE***"	ファイル名

7 [Q/↵]を1秒以上押して終了する

イルミネーション色を設定する (U585BTのみ)

操作パネルのイルミネーション色を選択します。

- 1 コントロールノブを押す
- 2 **DISP& ILLUMI** を選択する
- 3 **Color Select** を選択する
- 4 設定する場所を選択する

表示	設定場所
Color SEL All	すべての場所を同じ色に設定します。
Color SEL Display	ディスプレイの色を設定します。
Color SEL Key	ボタンの色を設定します。

5 色を選択する

“Color1”～“Color24”、“User”または“Variable Scan”（徐々に色が変わります）から選択します。

6 [Q/↵]を1秒以上押して終了する

RGB値を調整する

イルミネーション色のRGB（赤緑青）色を調整してオリジナル色を作成します。

- 1 「イルミネーション色を設定する」(P.51) の手順1～5を参照して“Color1”～“Color24”または“User”に設定します。
- 2 コントロールノブを1秒以上押す
- 3 色を調整する

以下の操作で色を設定します。

動作	操作
調整する色(R:赤、G:緑、B:青)を選択する	[◀◀]/[▶▶]を押す。
色を調整する (0～9)	コントロールノブを回す。

4 [Q/↵]を1秒以上押して終了する

調整した色はイルミネーション色の設定時に“User”を選択すると呼び出せます。



本機の設定をする

ディスプレイの詳細を設定する

ディスプレイの表示に関する設定を行います。

1 コントロールノブを押す

2 **[DISP & ILLUM]** を選択する

3 設定項目を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
Display Dimmer	ディスプレイの減光の方法を設定します。 Auto：車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1：常時減光します。 Manual2：Manual1よりもさらに減光します。 OFF：減光しません。	Auto /Manual1/ Manual2/OFF
Contrast	ディスプレイのコントラストを設定します。	1 ~ 10 ~ 30
DISP NEGA/ POSI	ディスプレイの表示タイプをネガとポジとに切り替えます。 NEGA 1：文字をネガタイプで表示します。 NEGA 2：車両のライトスイッチがオフのときは、文字をネガタイプで表示し、オンにするとポジタイプで表示します。 POSI 1：文字をポジタイプで表示します。 POSI 2：車両のライトスイッチがオフのときは、文字をポジタイプで表示し、オンにするとネガタイプで表示します。	NEGA 1 /NEGA 2 POSI 1/POSI 2
Text Scroll	ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、グループタイトル、フォルダ名、ファイル名、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。 Auto：スクロールを繰り返します。 Once：スクロールを1回行います。 OFF：スクロールしません。	Auto /Once/OFF
BT DVC Status (U585BTのみ)	接続しているBluetoothデバイスの状態を表示します。 [] ：バッテリーレベルを表示します。 [] ：受信電波強度を表示します。	—
ILLUMI Dimmer	ボタンイルミネーションの減光の方法を設定します。 Auto：車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1：常時減光します。 Manual2：Manual1よりもさらに減光します。 OFF：減光しません。	Auto /Manual1/ Manual2/OFF



表示	設定内容	設定値
ILLUMI Effect	本機の操作に連動してキーのイルミネーションを変える演出効果を設定します。 ON：本機を操作することに変化します。 OFF：演出効果がありません。	ON/OFF
ILLUMI MSC SYNC (U585BTのみ)	音量の変化に連動してキーのイルミネーションを変える演出効果を設定します。 ON：音量の変化に応じて変化します。 OFF：演出効果がありません。	ON/OFF

4 設定値を選択する

5 [Q/↵]を1秒以上押して終了する

日付を調整する

- 1 コントロールノブを押す
- 2 **Settings** を選択する
- 3 **Clock & Date** を選択する
- 4 **Date Adjust** を選択する
- 5 年を調整し、コントロールノブを押す
- 6 月を調整し、コントロールノブを押す
- 7 日を調整し、コントロールノブを押す
- 8 [Q/↵]を1秒以上押して終了する

MEMO

- ・年、月、日の調整をやり直す場合は、[◀◀]/[▶▶]を押して調整する表示を選択します。

お好みの音質に設定しよう — U585SD — (オーディオコントロール)

音響効果などを設定します。

1 いずれかの音源を再生中に、コントロールノブを押す

2 **Audio Control** を選択する

3 設定項目を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示		設定内容	設定値	
SubWoofer Level ^{*1}		サブウーファースの音量を調整します。	-15 ~ 0 ~ +15 (dB)	
Bass Level		低音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
Middle Level		中音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
Treble Level		高音域の音量を調整します。	-8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
Equalizer PRO	Bass Adjust	Bass Center FRQ	調整する低音域の中心周波数を設定します。 60/80/ 100 /200 (Hz)	
		Bass Level	低音域の音量を調整します。 -8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
		Bass Q Factor	低音クオリティファクターを設定します。 1.00 /1.25/ 1.50/2.00	
		Bass EXT	低音中心周波数の伸張設定のON/OFFを設定します。 OFF /ON	
	Middle Adjust	Middle Center FRQ	調整する中音域の中心周波数を設定します。 0.5/ 1.0 /1.5/2.5 (kHz)	
		Middle Level	中音域の音量を調整します。 -8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
		Middle Q Factor	中音クオリティファクターを設定します。 0.75/ 1.00 /1.25	
	Treble Adjust	Treble Center FRQ	調整する高音域の中心周波数を設定します。 10.0/ 12.5 / 15.0/17.5 (kHz)	
		Treble Level	高音域の音量を調整します。 -8 ~ 0 ~ +8 (dB)	
	dB Equalizer		ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。 イコライザーカーブは音源ごとに設定できます。	User ^{*2} /Rock/Vocal/ Easy/Dance/Jazz/ Powerful/Natural
	Bass Boost		低音を増強します。	OFF /Level1/Level2/ Level3
	Loudness		低音域と高音域を増強します。	Level1 /Level2/OFF
Balance		左右の音量バランスを調整します。	Left 15 ~ 0 ~ Right 15	



表示		設定内容	設定値
Fader		前後の音量バランスを調整します。	Rear 15 ~ 0 ~ Front 15
SubWoofer		サブウーファー出力のON/OFFを設定します。	OFF/ON
Detailed Settings	HPF	ハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	Through/100/120/150 (Hz)
	LPF SubWoofer* ¹	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。	85/120/160/Through (Hz)
	Subwoofer Phase* ³	サブウーファーの位相を設定します。	Reverse (180°) / Normal (0°)
	Supreme* ⁴	Supreme機能のON/OFFを設定します。	ON/OFF
	NAV Guide	カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定します。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。 ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。	OFF/ATT
Audio Preset* ⁵	オーディオ設定の登録・呼び出しをします。 <登録方法> ① 登録したいオーディオコントロールを設定します。 ② [Audio Preset] の [Memory] を選択し、コントロールノブを押します。 ③ [YES] を選択し、コントロールノブを押します。 ④ “Memory Completed” と表示されたことを確認します。 <呼び出し方法> ① 設定を呼び出したい音源に切り替えます。 ② [Audio Preset] の [Recall] を選択し、コントロールノブを押します。 ③ [YES] を選択し、コントロールノブを押します。 ④ “Recall Completed” と表示されたことを確認します。	Recall/Memory	
Volume Offset	音源ごとの音量の差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (dB) (AUX: -8 ~ 0 ~ +8)	

▶次ページへつづく



本機の設定をする

- ※1 “SubWoofer” をONに設定しているときに表示されます。
- ※2 “User” 設定は、“Bass Level”、“Middle Level”、“Treble Level” の調整した値です。
- ※3 “LPF” を “Through” に設定しているときは表示されません。
- ※4 オーディオファイル再生中に表示されます。
- ※5 ・登録できる設定項目は以下のとおりです。
Bass Center FRQ/ Bass Level/ Bass Q Factor/ Bass EXT/ Middle Center FRQ/
Middle Level/ Middle Q Factor/ Treble Center FRQ/ Treble Level/
SubWoofer Level/ HPF/ LPF SubWoofer/ SubWoofer Phase
・登録できるオーディオコントロール設定は1組です。音源別の登録はできません。
・リセットボタン (P.72) を押すと、登録した値がオーディオコントロールの初期設定値になります。

4 設定値を選択する

5 [Q/↔]を1秒以上押しして終了する

MEMO

- dB Equalizer、低音、中音、高音は、音源ごとに設定できます。
- dB Equalizer設定中は、[◀◀]/[▶▶]を押して、効果のHIGH/LOWを切り替えることができます。ただし、“Natural”、“User” に設定しているときは調整できません。
- Supreme (サブプリーム) 機能とは、低ビットレートでエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット (AAC、MP3、WMA、およびWAV) 別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果が分かりにくい場合があります。
- 本機とケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。
なお、「NAV Guide」機能はケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。



お好みの音質に設定しよう — U585BT — (オーディオコントロール)

音響効果などを設定します。

1 いずれかの音源を再生中に、コントロールノブを押す

2 **Audio Control** を選択する
オーディオコントロール画面が表示されます。

3 設定項目を選択する
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示		設定内容	設定値
SubWoofer Level		サブウーファースの音量を調整します。	-15 ~ 0 ~ +15 (dB)
Preset Equalizer* ³		ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。 イコライザーカーブは音源ごとに設定できます。	User * ⁶ /Natural/Rock/ Pops/Easy/Top40/ Jazz/Powerful/iPod (iPod 接続時のみ) * ⁴
Manual Equalizer* ³		音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。(P.61)	—
Pro Setup	DSP Set	DSP機能のON/OFFを設定します。 Bypass : DSP機能が停止します。 Through : DSP機能を使用します。	Bypass/Through
	Car Type* ³	車種を選択することで簡単にタイムアラ イメントを設定し、スピーカー間の距離 差を補正します。	OFF /Compact/ Sedan/Wagon/ Minivan/SUV/ One Box
Speaker Setting* ³	Front	フロントスピーカーのサイズや取り付け 位置を設定します。 また、ツイーターの有無を設定します。 None : ツイーターがない場合の設定で す。	取り付け位置 : Door /OnDash/ UnderDash SIZE : O.E.M./8cm/10cm/ 12cm/13cm/ 16cm / 17cm/18cm/4x6/ 5x7/6x8/6x9/7x10 TW (ツイーター) : None/Small/ Medium / Large

▶次ページへつづく



本機の設定をする

表示		設定内容	設定値
Pro Setup	Speaker Setting ^{*3}	Rear リアスピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。 None：スピーカーがない場合の設定です。 O.E.M：車両標準で付いている再生帯域の狭いスピーカーの設定です。	取り付け位置： Door ^{*1} /Rear Deck ^{*1} / 2nd Seat ^{*2} / 3rd Seat ^{*2} SIZE： None/O.E.M./8cm/ 10cm/12cm/13cm/ 16cm /17cm/18cm/ 4x6/5x7/6x8/6x9/ 7x10
		SubWoofer サブウーファーのサイズを設定します。 None：スピーカーがない場合の設定です。	SIZE： None/16cm/20cm/ 25cm /30cm/ 38cmOver/
X'Over ^{*3}		各スピーカーの出力帯域の設定をします。 (P.62)	—
DTA Settings ^{*3}	Preset Position	聴く位置に合わせてプリセットポジションの設定をします。音像定位が補正されます。	ALL /Front R/Front L/ Front All
	DTA	「Car Type」で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように、「Front」、「Rear」、「SubWoofer」のスピーカーごとに「Position」で設定した値を微調整します。 (P.63)	—
	Channel Level	DTAで補正した音量から気になるスピーカー音量に対して微調整を各スピーカーごとに行うことができます。 (P.64)	—
	Reset DTA Setting	“YES”を選択すると、DTAとChannel Levelの設定値を初期状態に戻します。	YES/NO
NAV Guide		カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定します。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。 ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。	OFF/ATT



表示		設定内容	設定値	
Pro Setup	Sound Enhancements ^{*3}	Supreme ^{*5}	Supreme機能のON/OFFを設定します。	ON/OFF
		HIGHWAY-SOUND ^{*6}	ロードノイズによってかき消される小さな音を大きくして聞き取りやすくすると共に、消されがちな低音を強調することでロードノイズに負けない音にします。音源をラジオに設定している場合は調整できません。	OFF/Low/Middle/High
		Space Enhancer	DSPで仮想的に音の広がりをもたせません。	OFF/Small/Medium/Large
		Sound Realizer	ぼけた音をはっきりさせて、よりリアルティ感のある音にします。圧縮された音楽に効果的です。	OFF/Level 1 /Level 2/ Level 3
		Sound Elevation	DSPで音場を仮想的に持ち上げます	OFF/Low/Middle/High
	Volume offset	音源ごとの音量の差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (dB) (AUX : -8 ~ 0 ~ +8)	
	Rear Mute	リアスピーカーのミュートのON/OFFを設定します。	ON/OFF	
	SubWoofer Mute	サブウーファースのミュートのON/OFFを設定します。	ON/OFF	
	Audio Preset	DSP設定の登録および呼び出しを行います。1 ~ 2のメモリー番号に登録できません。(P.64) Memory : 登録 Recall : 呼び出し	—	
	Bass Boost ^{*3}	低音を増強します。	OFF/Level 1 /Level 2/ Level 3	
Loudness ^{*3}	低音域と高音域を増強します。	OFF/Low/High		
Balance	左右の音量バランスを調整します。	Left 15 ~ 0 ~ Right 15		
Fader	前後の音量バランスを調整します。	Rear 15 ~ 0 ~ Front 15		

- ※1 「Car Type」の設定が、「Minivan」または「OneBox」以外の場合は設定できません。
- ※2 「Car Type」の設定が、「Minivan」または「OneBox」の場合は設定できます。
- ※3 「DSP Set」の設定が、「Bypass」の場合は設定できません。
- ※4 「iPod」を選択すると、さらに22種のiPod用イコライザーカーブから選択できます。
- ※5 オーディオファイルを再生中のみ設定ができます。
- ※6 「User」を選択すると、Manual Equalizerで調整したイコライザーカーブが設定されます。

▶次ページへつづく



本機の設定をする

4 設定値を選択する

5 [Q/➡]を1秒以上押しして終了する

MEMO

- Supreme（サブプリーム）機能とは、音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで、自然な音を再現します。圧縮された音楽に効果的です。
- 本機とケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。

なお、「NAV Guide」機能はケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。



イコライザーカーブを調整する

音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。

- 1 いずれかの音源を再生中に、コントロールノブを押す
- 2 **Audio Control** を選択する
- 3 **Manual Equalizer** を選択する
- 4 設定項目を選択する

表示	項目
Gain	各バンドのゲインを設定します。
Q Factor	Qを設定します。
Bass EXT	低音中心周波数の伸張設定の設定をします。

Q FactorまたはBass EXTを選択した場合は、手順6に進みます。

5 周波数を選択する

表示	周波数
BAND 1	62.5 Hz
BAND 2	100 Hz
BAND 3	160 Hz
BAND 4	250 Hz
BAND 5	400 Hz
BAND 6	630 Hz
BAND 7	1 kHz
BAND 8	1.6 kHz
BAND 9	2.5 kHz
BAND 10	4 kHz
BAND 11	6.3 kHz
BAND 12	10 kHz
BAND 13	16 kHz

6 設定値を選択する

太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

項目	設定値
Gain	-9 ~ 0 ~ +9
Q Factor	1.35/ 1.50 /2.00
Bass EXT	OFF /ON

7 [Q/5]を1秒以上押しして終了する

MEMO

- イコライザーカーブは、音源ごとに設定できます。
- 「Preset Equalizer」で「iPod」を選択中は、イコライザーカーブの調整はできません。

▶次ページへつづく



本機の設定をする

クロスオーバーの設定をする

各スピーカーの補正をします。

- 1 いくつかの音源を再生中に、コントロールノブを押す
- 2 **Audio Control** を選択する
- 3 **Pro Setup** を選択する
- 4 **X'Over** を選択する
- 5 調整するスピーカーを選択する

表示		設定内容
Front	FC	ハイパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE ※1	ハイパスフィルター スロープ
	GAIN	ゲイン
Rear	FC	ハイパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE ※1	ハイパスフィルター スロープ
	GAIN	ゲイン
SubWoofer	FC	ローパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE ※1	ローパスフィルター スロープ
	GAIN	ゲイン
	PHASE	ローパスフィルター の位相
Tweeter	FC	カットオフ周波数
	Volume	ツイーター音量

- 6 調整する項目を選択する
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。
- 7 設定値を選択し、コントロールノブを押す

設定内容	設定値
Front FC/ Rear FC/ SubWoofer FC	Through /30/40/ 50/60/70/80/ 90/100/120/ 150/180/220/ 250 Hz
Tweeter FC	1/1.6/2.5/ 4 /5/ 6.3/8/10/12.5 kHz
Front SLOPE/ Rear SLOPE/ SubWoofer SLOPE	-6/- 12 /-18/-24 dB
Front GAIN/ Rear GAIN/ SubWoofer GAIN/ Tweeter Volume	0 / -1 / -2 / -3 / -4 / -5 / -6 / -7 / -8 dB
PHASE	NML / REV

※1 Front、Rear、SubWooferのFCが“Through”に設定されてる場合は、それぞれの“SLOPE”は設定できません。

8 [Q/↵]を1秒以上押して終了する

MEMO

Front FC/Rear FC :

設定された周波数（カットオフ周波数）よりも低い成分をカットします。サブウーファーを追加するときに、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。“Through”に設定すると、この機能をOFFにできます。

Front SLOPE/Rear SLOPE :

Front FC/Rear FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

SubWoofer FC :

設定された周波数（カットオフ周波数）よりも高い成分をカットします。サブウーファー出力をサブウーファー用と



して使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。“Through”に設定すると、この機能をOFFにできます。

Tweeter FC/ Tweeter Volume :

Tweeter FCで設定した周波数よりも高い成分のレベルを、Tweeter Volumeの設定に応じて減衰します。

SubWoofer SLOPE :

SW FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

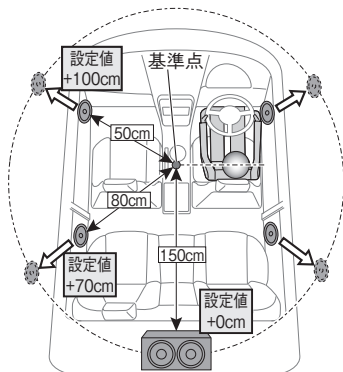
SubWoofer PHASE :

サブウーファースの位相（正相/逆相）を設定します。

ディレイタイムの調整

「Car Type」(P.57) で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように微調整します。

タイムアライメントの設定は、車両中心部からの各スピーカーの距離を指定することにより、自動的に割り出されて補正されます。



- (1) 前後と高さをフロントシートに座った人の耳の位置で、左右を車室内の中央に基準点を設定します。
- (2) 基準点からスピーカーまでの距離を測ります。
- (3) 一番遠いスピーカーの距離に合わせて

距離の差を計算します。

- 1 いずれかの音源を再生中に、コントロールノブを押す
- 2 **Audio Control** を選択し、コントロールノブを押す
- 3 **Pro Setup** を選択し、コントロールノブを押す
- 4 **DTA Settings** を選択し、コントロールノブを押す
- 5 **DTA** を選択し、コントロールノブを押す
- 6 調整するスピーカーを選択し、コントロールノブを押す

表示	設定スピーカー	設定値
FrontL	フロント左	0 ~ 610cm
FrontR	フロント右	0 ~ 610cm
RearL	リア左	0 ~ 610cm
RearR	リア右	0 ~ 610cm
SW L	サブウーファー左	0 ~ 610cm
SW R	サブウーファー右	0 ~ 610cm

- 7 設定値を選択し、コントロールノブを押す
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。
- 8 [Q/△]を1秒以上押して終了する



本機の設定をする

チャンネルレベルの調整

DTAを補正した後に、各スピーカーごとに音量の微調整を行います。

- 1 いくつかの音源を再生中に、コントロールノブを押す
- 2 **Audio Control** を選択する
- 3 **Pro Setup** を選択する
- 4 **DTA Settings** を選択する
- 5 **Channel Level** を選択する
- 6 調整するスピーカーを選択する

表示	設定スピーカー	設定値
Front L	フロント左	-8 ~ 0 dB
Front R	フロント右	-8 ~ 0 dB
Rear L	リア左	-8 ~ 0 dB
Rear R	リア右	-8 ~ 0 dB
SW L	サブウーファー左	-8 ~ 0 dB
SW R	サブウーファー右	-8 ~ 0 dB

- 7 設定値を選択する
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。
- 8 **[Q/↵]**を1秒以上押して終了する

DSP設定を登録する

DSP設定の登録を行います。
登録できる設定項目は以下のとおりです。
(P.57)

- ・ SubWoofer Level
- ・ Manual Equalizer
- ・ Car Type
- ・ Speaker Setting
- ・ Preset Position
- ・ DTA
- ・ Channel Level
- ・ X'Over

- 1 登録する音源を再生中に、コントロールノブを押す
- 2 **Audio Control** を選択する
- 3 **Pro Setup** を選択する
- 4 **Audio Preset** を選択する
- 5 **Memory** を選択する
- 6 プリセット番号を選択する

プリセット番号	設定内容
1	メモリー 1 に登録します。リセットボタンを押したとき、この設定が初期設定値になります。
2	メモリー 2 に登録します。

- 7 **YES** を選択する
"Memory Completed" と表示され、登録が完了します。
- 8 **[Q/↵]**を1秒以上押して終了する

MEMO

- ・ 登録したDSP設定はリセットボタンを押しても消去されません



DSP設定を呼び出す

登録したDSP設定を呼び出します。
登録できる設定項目は以下のとおりです。

(P.57)

- ・ SubWoofer Level
- ・ Manual Equalizer
- ・ Car Type
- ・ Speaker Setting
- ・ Preset Position
- ・ DTA
- ・ Channel Level
- ・ X'Over

1 呼び出す音源を再生中に、コントロールノブを押す

2 **Audio Control** を選択する

3 **Pro Setup** を選択する

4 **Audio Preset** を選択する

5 **Recall** を選択する

6 プリセット番号を選択する

7 **YES** を選択する

“Recall Completed” と表示され、呼び出しが完了します。

8 [Q/↵]を1秒以上押しして終了する



音源ごとに設定を変更しよう

音源ごとに用意されている機能の設定を変更することができます。

1 設定を変更する音源を再生中に、コントロールノブを押す

2 **Settings** を選択する

3 設定項目を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

音源	表示	設定内容	設定値
ラジオ	Seek Mode	放送局の探しかたを設定します。 Auto1：放送局を自動的に受信します。 Auto2：登録されている放送局を順番に受信します。 Manual：1ステップずつ周波数が変わります。	Auto1 /Auto2/ Manual
	Auto Memory	受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(P.40)	—
	MONO (FMラジオ受信時のみ)	FMステレオ放送をモノラルで受信します。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときにONにすると、雑音が軽減されて聴きやすくなることがあります。	ON/OFF
iPod	Skip Search	曲を探すときのスキップする割合を設定します。(P.36)	0.5% /1%/5%/10%
AUX	AUX Name Set	音源をAUXに切り替えたときに表示される名前を設定します。	AUX /DVD/PORTABLE/ /GAME/VIDEO/TV
USB/ SD	Skip Search	KENWOOD Music Editor Lightでデータを付加している場合に、曲を探すときのスキップする割合を設定します。(P.31)	0.5% /1%/5%/10%
すべての音源	Clock & Date	本機の時計と日付を合わせます。(P.12) (P.53)	—

4 設定値を選択する

5 [Q/△]を1秒以上押しして終了する



初期設定を変更しよう

操作時の音に関する設定や、CDの読み込み方法に関する設定などを行います。

- 1 音源をSTANDBYに設定する
 - 2 コントロールノブを押す
 - 3 **Initial Settings** を選択する
 - 4 設定項目を選択する
- 各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
SRC Select	[SRC]を押したときの音源選択方法を切り替えます。 1：[SRC]を押すごとに音源の表示が切り替わります。 2：コントロールノブを回して音源を選択します。	1/2
Key Beep	操作時のピープ音を設定します。	ON/OFF
カンジ ユウセン	CDテキストなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するか設定ができます。 ON：漢字で表示（漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示） OFF：カタカナまたは英/数文字で表示	ON/OFF
Built-in AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON：AUX音源に切り替えたときに、内部AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。 OFF：内部AUX端子を使用しないときに選択します。	ON/OFF
CD Read	CDの読み込み方法を設定します。 特殊なフォーマットのCDを再生中、正常に再生できない場合に強制的に再生させる機能です。ただし音楽CDによっては再生できない場合もあります。 1：通常はこちらでご使用ください。 2：音楽CDとして強制的に再生します。オーディオファイルの再生はできなくなります。	1/2

▶次ページへつづく



本機の設定をする

表示	設定内容	設定値
Built-in AMP	内蔵アンプの出力をON/OFFします。 フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるときは、この機能をOFFに設定することで、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。 内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトから出力される音質を向上させることができます。	ON/OFF
Switchable Preout (U585SDのみ)	プリアウトの出力を設定します。 Rear：リア用出力に設定します。 SubWoofers：サブウーファー用出力に設定します。	Rear/ SubWoofers
F/W Update	以下の手順でファームウェアをアップデートします。 アップデートに関する情報は、 www2.jvckenwood.com/faq/ をご覧ください。	—

5 設定値を選択し、コントロールノブを押す

6 [Q/↵]を1秒以上押して終了する



Bluetoothの初期設定を変更しよう (U585BTのみ)

ハンズフリーやBluetoothオーディオなど、Bluetoothに関する設定をします。

- 1 [F]を押す
- 2 **Settings** を選択する
- 3 **Detailed Settings** を選択する
- 4 設定項目を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
PIN Code Edit	Bluetooth機器側から登録（ペアリング）する際に必要なPINコードを設定します。(P.70)	0000
Auto Answer	着信コールの経過時間で自動的に電話を受ける（応答）機能です。 OFF：自動着信しません。 1SEC～99SEC：1秒から99秒で自動着信します。	OFF/ 1SEC～ 8SEC ～ 99SEC
Auto Reconnect	Bluetoothの接続が切れても、電波状態が良くなると自動で再接続する機能です。 ON：再接続します。 OFF：再接続しません。	ON/OFF
Auto Pairing ^{**1}	本機にiPod touchまたはiPhoneをKCA-iP102（別売品）で接続すると、Bluetooth デバイスとして自動的に登録することができます。（Apple Auto Pairing機能） Apple Auto Pairing機能のオン/オフ設定をします。 ON： 接続したiOSデバイスを自動的にBluetoothデバイスとして登録します。 OFF： Bluetoothデバイスとして登録しません。	ON/OFF
Bluetooth HF/Audio	Bluetoothオーディオおよび受話音声を出力するスピーカーを設定します。 All： フロントおよびリアの左右のスピーカーから出力します。 Front： フロントの左右のスピーカーから出力します。	All/ Front
Call Beep	この機能をONにすると、携帯電話に着信があった場合にスピーカーからピープ音を鳴らして着信を知らせます。	ON/OFF
BT F/W Update	以下の手順でBluetoothのファームウェアをアップデートします。アップデートに関する情報は、www.kenwood.com/cs/ce/bt/をご覧ください。	YES/NO

▶次ページへつづく



本機の設定をする

表示	設定内容	設定値
MIC Gain	通話時のマイクの音量を調整します。	-20 ~ 0 ~ +8
Echo Cancel Level	通話時のノイズやエコーを減少します。	1 ~ 4 ~ 10

※1 実際に登録するときには、確認操作が必要な場合があります。また、接続してるiOSデバイスやiOSバージョンによって、正常に機能しない場合があります。

5 設定値を選択し、コントロールノブを押す

6 [✓]を押して終了する

PINコードを登録する

1 [✓]を押す

2 [Settings] を選択する

3 [Detailed Settings] を選択する

4 [PIN Code Edit] を選択する

5 PINコード入力する

動作	操作
数字を選択する	コントロールノブを回す。
次の桁に移動する	[▶▶]を押す。
最後の桁を消去する	[◀◀]を押す。

6 コントロールノブを押す
“Completed” と表示され、PINコードの登録が登録されます。

7 [✓]を押して終了する

本機を盗難から守るために

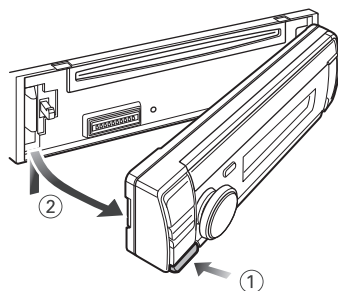
本機は、盗難防止のため、操作パネル部分を取り外すことができます。

お車から離れる際は、操作パネルを本機から取り外して携帯していただくことをおすすめします。

操作パネルを取り外す

1 リリースボタンを押す

電源がオフになり、パネルのロックが解除され、パネルが取り外せます。



MEMO

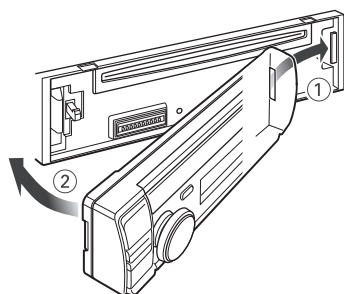
- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。取り外したパネルは、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿度が高い場所
 - ほこりのかかる場所

操作パネルを取り付ける

1 パネル右側の凹部と本体右側の凸部を合わせる

2 パネルの左側を本体に合わせて押す

パネルがロックされ、本機が使用できるようになります。

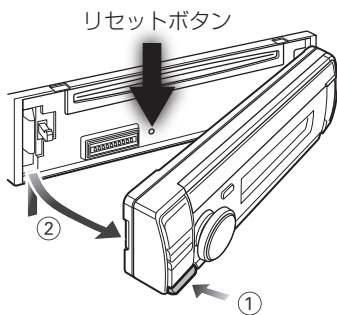


困ったときに

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(P.72)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、「操作パネルを取り外す」(P.71)を参照して操作パネルを取り外し、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源を切り、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケータの点滅が続く。



故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
操作ボタンを押しても動作しない	システムに異常が発生している。	リセットボタン (P.72) を押してください。
ラジオの感度が悪い FMは受信するが、AMが受信できない。	自動車のアンテナが伸びていない。 アンテナコントロール電源が接続されていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。 「配線をしましょう」(P.78) を参照して、正しく接続し直してください。
ディスクが取り出せない	ディスクが排出の途中で止まっている。	ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。
CDやオーディオファイルを再生できない	ディスクが異常に汚れている。	「お気をつけください」(P.9) を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
CDやオーディオファイル再生中に音飛びする	ディスクに傷や汚れがある。 ディスク作成時に問題があった。	「お気をつけください」(P.9) を参照して、ディスクをクリーニングしてください。 ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。
電源が入らない 音が出ない 異常な表示がされる	操作パネルのコネクター端子が汚れている	「パネルと本機の端子について」(P.8) を参照して、操作パネルのコネクター端子を掃除してください。

こんなメッセージが表示されたら…

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
TOC Error :	ディスクが異常に汚れています。	「お気をつけください」(P.9) を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が多く付いています。	傷のあるディスクはご使用にならないでください。
	ディスクが裏返しになっています。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。
Read Error :	接続しているUSB機器またはSDカードのファイルシステムが破損しています。	USB機器/SDカードのファイル、フォルダをコピーし直してください。 それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器/SDカードをフォーマットするか、他のUSB機器/SDカードを使用してください。
NA File :	サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしてしました。	本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。
Copy PRO :	再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。	ファイルのコピープロテクトを解除してください。

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
IN (点滅)	CDプレーヤーが正常に動作していません。	CDを一度取り出してから、再度挿入してください。それでも表示が消えないときは本機のリセットボタン (P.72) を押してください。 上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Reading :	ディスクに収録されているデータのチェック中です。	チェックが終われば正常に作動します。
Protect (点滅):	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシーに接触したために、保護回路が働きました。	スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、本機のリセットボタン (P.72) を押してください。 それでも表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

困ったときに

メッセージ	原因	処置
No Device :	USB機器/SDカード/iPodが接続されていないときに、音源をUSB/SD/iPodに切り替えました。	USB機器/SDカード/iPodを接続し、再度音源をUSB/SD/iPodにしてください。
N/A Device :	サポートされていないUSB機器/SDカード/iPodを接続しました。	USB機器/SDカード/iPodを取り外してください。 サポートされているUSB機器/SDカード/iPodについては、「 本機で使えるメディアとオーディオファイル 」(P.26)、「 iPodについて 」(P.32)を参照してください。
No Music Data :	接続されているUSB機器/SDカード/iPodには、再生できるフォーマットのオーディオファイルがありません。	再生可能なフォーマットのオーディオファイルが入ったUSB機器/SDカード/iPodを接続してください。
iPod Error :	iPodとの接続に不具合が発生しています。	<p>「iPodについて」(P.32)を参照して、接続しているiPodが本機で使えるiPodかどうか確認してください。</p> <p>iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。</p> <p>iPodのリセット(設定メニュー内の「リセット」とは異なります)を行ってください。 iPodのリセット方法についてはアップル社のウェブサイトを参照してください</p>
Please Eject :	何らかの原因で正常に動作していません。	<p>イジェクトボタンを押してください。</p> <p>それでも表示が消えないときは本機のリセットボタン (P.72) を押してください。</p> <p>上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。</p>

メッセージ	原因	処置
Connect NG	Bluetooth機器に接続できません。	接続を確認してください。
Device Full	すでにBluetooth機器が5台登録されておりこれ以上登録できません。	「Bluetoothデバイスの登録を解除する」(P.42)を参照して、機器を削除してください。
HF Error 89	Bluetoothのファームウェアアップデートに失敗しました。	もう一度、Bluetoothファームウェアをアップデートしてください。
No Data	発信履歴、着信履歴、不在着信履歴がありません。 電話帳にデータがありません。	履歴があればエラーメッセージは表示されません。 「電話帳をコピーする」(P.42)を参照して、電話帳のデータを本機にダウンロードしてください。
No Entry	携帯電話を機器登録（ペアリング）していません。	「Bluetoothデバイスの登録」(P.41)を参照して、携帯電話を登録してください。
No Number	電話番号の通知がない着信時に表示します。 電話番号のデータがない時に表示します。	電話番号の通知がある着信時は、エラーメッセージは表示されません。 電話番号のデータがある時は、エラーメッセージは表示されません。
No Support	携帯電話が音声認識に対応していません。 電話帳のダウンロードに対応していません。	音声認識に対応している携帯電話を使用してください。 電話帳のダウンロードに対応している携帯電話を使用してください。
N/A Voice Tag	音声認識を開始できません。	携帯電話の音声認識機能が動作していません。携帯電話を確認してください。
No Active Device	音声認識に対応している携帯電話が接続されていません。	音声認識に対応している携帯電話の接続を確認してください。
HF Error 68	携帯電話と通信できません。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機をリセットしてください。(P.72)
Pairing Failed	ペアリングエラーです。	「本機とペアリングできるBluetoothデバイス」(P.41)を参照して、対応する機器か確認してください。
No Phonebook	電話帳にデータがありません。	「電話帳をコピーする」(P.42)を参照して、電話帳のデータを本機にダウンロードしてください。
HF Disconnect	携帯電話と通信できません。	他のBluetoothデバイスが通信を妨げている可能性がある場合、他のBluetoothデバイスの電源を切るか遠ざけてください。
AUD Disconnect	Bluetoothオーディオ機器と通信できません。	他のBluetoothデバイスが通信を妨げている可能性がある場合、他のBluetoothデバイスの電源を切るか遠ざけてください。

本機を取り付けるときは

必ずお読みください

警告



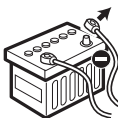
禁止

- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V ⊖ アース車専用です。



実施

- 配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



- 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



- 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



- バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

- 電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

警告



実施

- 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



禁止

- 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



- アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。

- 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



- 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

- 本製品は自動車のコンソールに設置してください。本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

- バッテリーの ⊖ 端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。

本機を取り付けるときは

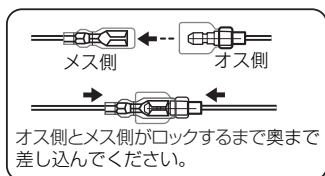
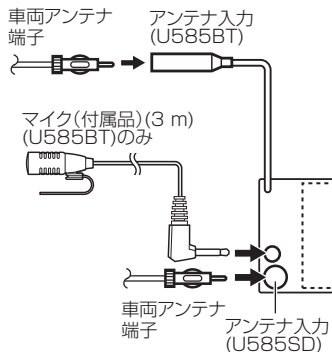
配線をしましょう



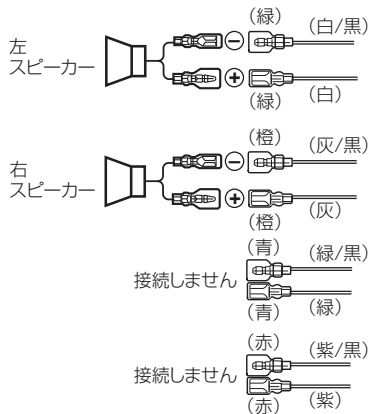
実施

最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

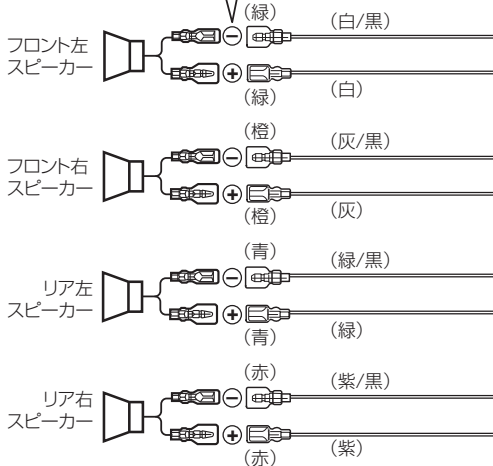
1. エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を外します。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（P.72）を押します。



2スピーカー時のスピーカー接続方法

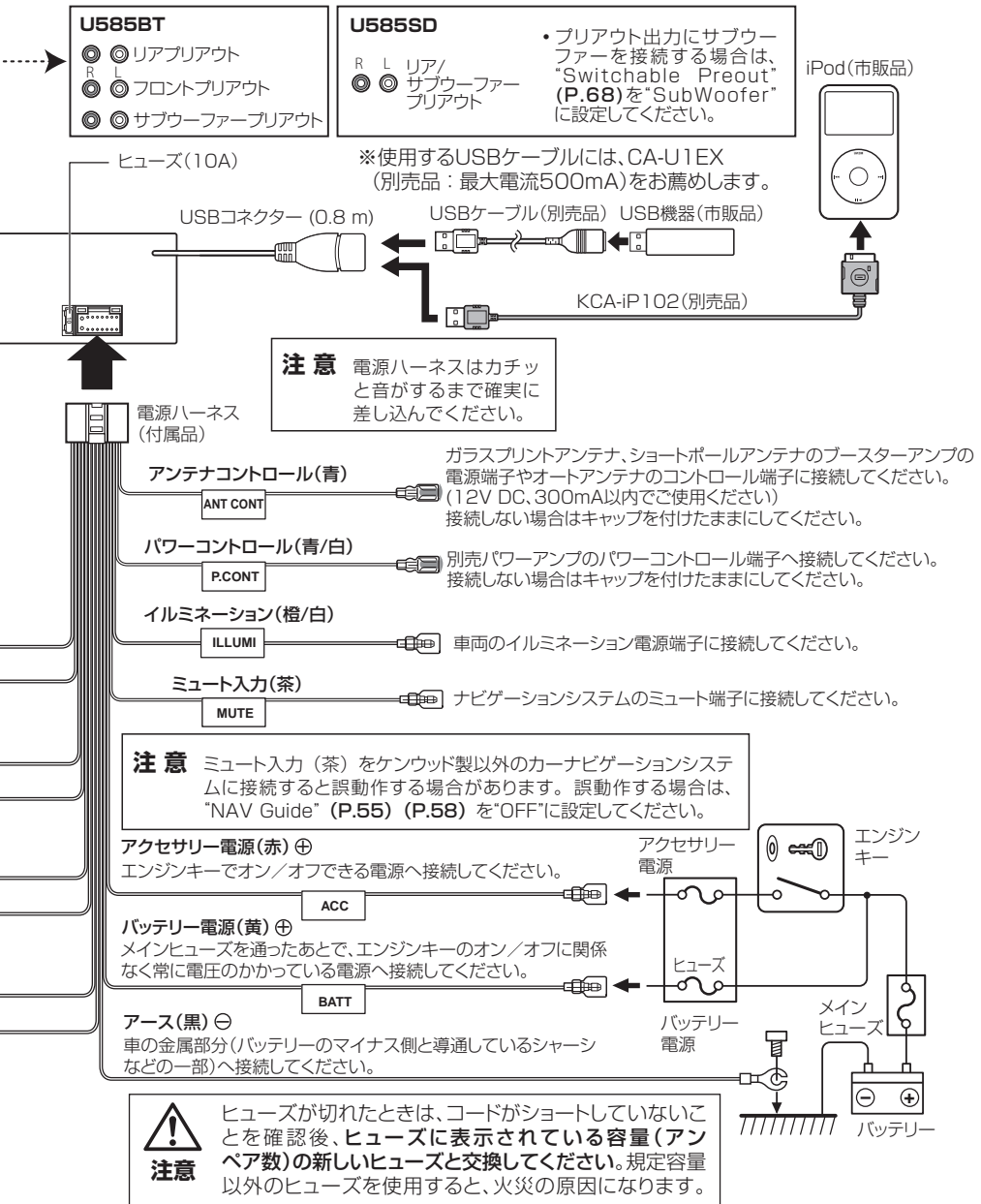


注意 接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。



注意 ・スピーカーコードの⊕ ⊖ 端子を車のシャーンなどに接触させないでください。
・複数のスピーカーコードの⊖ 端子を共通にして接続しないでください。

本機を取り付けるときは



本機を取り付けるときは

取り付けましょう

本機を車両ブラケットに取り付ける手順をご紹介します。

使用するのは、付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を4本です。

MEMO

- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。



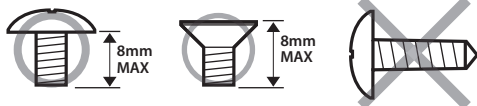
注意

● 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。

また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。


なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



本機に付属しているネジ

 トラスネジ (M5×6 mm) × 4

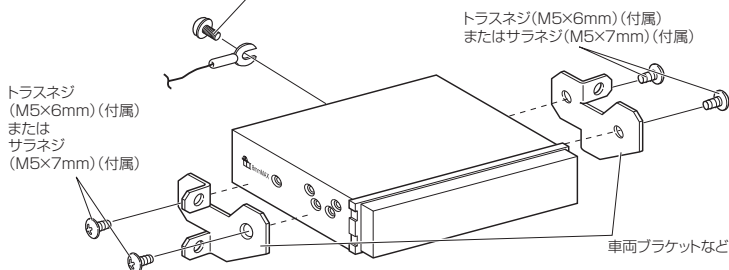
 サラネジ (M5×7 mm) × 4

 セムスネジ (M4×8 mm) × 1

セムスネジ

(M4×8mm) (付属)

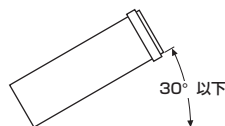
※別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



注意

- 本機の見取り図の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。

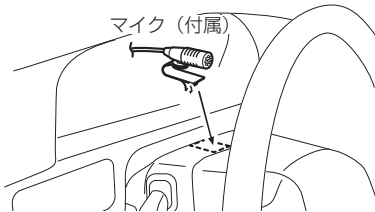


マイクの取り付け (U585BTのみ)

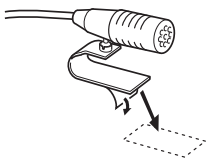
取り付け上のご注意

- 下記の位置には取り付けしないでください。
 - 運転者の視界を妨げる位置
 - エアーバックや保安部品の動作の妨げとなる位置
- マイクは、携帯電話や無線機などの電気・電子機器から離れた位置に取り付けてください。音声がかこれらの通信によって妨害される場合があります。
- マイクは車両の衝突や急停止などで外れないよう、しっかり取り付けてください。
- マイクは、ケーブルの引き回しなどを確認してから貼り付けてください。

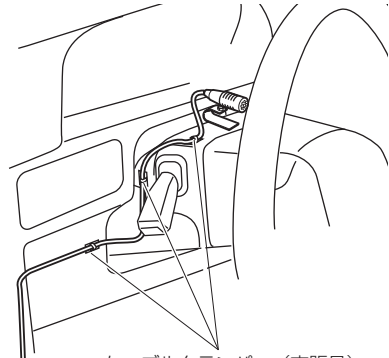
1. マイクの取り付け位置を確認します。
2. 取り付け位置の油分など汚れを取り除きます。



3. マイクの両面テープのはく離紙をはがし、貼り付けます。



4. マイクのケーブルを配線します。ケーブルは市販のケーブルクランパーなどで固定します。



ケーブルクランパー (市販品)などで固定します。



ケーブルを可動部にはさみ込まないように注意してください。

5. マイクの正面が運転者の方向へ向くように調整します。



保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.72)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒に持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）

● 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

● 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

● 部品代：修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道		
札幌サービスセンター	☎ 004-0005	札幌市厚別区厚別東 5 条 1-2-29 ☎ (011) 807-3003
東北		
仙台サービスセンター	☎ 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町 7-13 ☎ (022) 287-0151
関東・信越		
さいたまサービスセンター	☎ 331-0812	さいたま市北区宮原町 1-202 ☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎ 277-0863	柏市豊四季 512-10-67 ☎ (04) 7175-4322
横浜サービスセンター	☎ 226-8525	横浜市緑区白山 1-16-2 ☎ (045) 939-6242
東京サービスセンター (修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください)にて承ります。	☎ 135-0023	東京都江東区平野 3-2-6 木場パークビル 1F ☎ 0120-2727-87
八王子サービスセンター	☎ 192-8525	東京都八王子市石川町 2967-3 ☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	☎ 950-0913	新潟市中央区鏡 1-5-23 ☎ (025) 245-2177
中部・甲州		
名古屋サービスセンター	☎ 481-0041	北名古屋市九之坪鴨田 121-1 ☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎ 420-0816	静岡市葵区峯谷 5-61-1 ☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎ 921-8062	金沢市新保本 4-65-17 ☎ (076) 269-4821
近畿・四国		
大阪サービスセンター	☎ 532-0027	大阪市淀川区田川 12-4-28 ☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎ 761-8057	高松市田村町 205-1 ☎ (087) 802-6055
中国		
広島サービスセンター	☎ 730-0825	広島市中区光南 3-9-17 ☎ (082) 241-0023
九州		
福岡サービスセンター	☎ 812-0031	福岡市博多区沖浜町 11-10 サンイースト福岡 3F ☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎ 891-0114	鹿児島市小松原 1-5-17 ☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	☎ 901-2224	宜野湾市真志喜 1-11-12 コモンズビル 1F ☎ (098) 898-3631
■ サービスセンターの営業時間のご案内 受付時間 10:00 ~ 18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます) (各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)		

用語集

AAC (エーエシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.26)をご覧ください。

MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.26)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.26)をご覧ください。

WAV (RIFF waveform Audio Format)

米国マイクロソフト社と米国IBM社が開発した音声データのフォーマットです。

使用できるWAV収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.26)をご覧ください。

商標について

- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- The “AAC” logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Androidは、Google Inc.の登録商標です。

仕様

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)

実用感度 (S/N : 26 dB) :
7.2 dBf (0.63 μ V/75 Ω)

クワイティンク感度 (S/N : 46 dB) :
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)

周波数特性 (± 3.0 dB) : 30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 : 75 dB (MONO)

ステレオセパレーション : 45 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)

感度 (S/N : 20 dB) : 31 dB μ (36 μ V)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード : GaAlAs

デジタルフィルター (D/A) :

8倍オーバーサンプリング

D/Aコンバーター : 24 Bit

回転数 : 500 ~ 200 rpm (線速度一定)

フウ& フラッター : 測定限界以下

周波数特性 : 10 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)

高調波歪み率 : 0.008 % (1 kHz)

S/N比 : 110 dB (1 kHz)

ダイナミックレンジ : 93 dB

MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠

WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード : AAC-LC ".m4a" ファイル

USB I/F部

USB規格 : USB 1.1/2.0 (Full speed対応)

ファイルシステム : FAT12/16/32

最大供給電流 : DC5V \leq 1A

MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠

WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード : AAC-LC形式 ".m4a" ファイル

WAVデコード : Linear-PCM

SD部

物理フォーマット : Version 2.00

ファイルシステム : FAT12/16/32

最大メモリー容量 : 32GB

MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3 準拠

WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠

AACデコード : AAC-LC形式 ".m4a" ファイル

WAVデコード : Linear-PCM

Bluetooth部 (U585BT)

規格 : Bluetooth Ver.2.1+EDR 準拠

周波数 : 2.402 ~ 2.480GHz

出力 : +4dBm(最大)、0dBm (平均)

パワークラス 2

最大通信距離 : 10 m

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

プロフィール

HFP(Hands Free Profile)

SPP(Serial Port Profile)

PBAP(Phonebook Access Profile)

OPP(Object Push Profile)

A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

オーディオ部

最大出力 : 50 W \times 4

定格出力 : 30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD以下)

スピーカーインピーダンス : 4 ~ 8 Ω

プリアウトレベル (CD) : 2500 mV/10 k Ω

プリアウトインピーダンス : 600 Ω 以下

グラフィックイコライザー (U585BT) :

Band1: 62.5Hz \pm 9dB

Band2: 100Hz \pm 9dB

Band3: 160Hz \pm 9dB

Band4: 250Hz \pm 9dB

Band5: 400Hz \pm 9dB

Band6: 630Hz \pm 9dB

Band7: 1kHz \pm 9dB

Band8: 1.6kHz \pm 9dB

Band9: 2.5kHz \pm 9dB

Band10: 4kHz \pm 9dB

Band11: 6.3kHz \pm 9dB

Band12: 10kHz \pm 9dB

Band13: 16kHz \pm 9dB

トーンコントロール (U585SD) :

Bass: 100 Hz \pm 8 dB

Middle: 1 kHz \pm 8 dB

Treble: 12.5 kHz \pm 8 dB

AUX入力

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz (± 3 dB)

入力最大電圧 : 1200 mV

入力インピーダンス : 10 k Ω

電源部

電源電圧 :

U585BT : 14.4 V (10.5 ~ 16 V)

U585SD : 14.4 V (11 ~ 16 V)

最大消費電流 : 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D) :

178 \times 50 \times 159 mm

質量 (重さ) :

U585BT : 1.3 kg

U585SD : 1.2 kg

付属部品

電源ハーネス : 1本

トラスネジ(M5 \times 6 mm) : 4本

サラネジ(M5 \times 7 mm) : 4本

セムスネジ(M4 \times 8 mm) : 1本

マイク(U585BTのみ、3 m) : 1本

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950

FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My Kenwood) をお願いしています。弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
<http://jp.my-kenwood.com>